

平成30年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書

(平成29年度分)

寒河江市教育委員会



## 目 次

I	寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1.	制度の概要及び目的	1
2.	点検・評価の対象事業	1
3.	点検・評価の方法	1
4.	学識経験者の知見の活用	1
II	教育委員会の活動状況	2
1.	教育委員会の開催	2
2.	教育委員会協議会の開催	3
3.	教育委員会会議以外の活動	4
III	施策の体系	5
IV	外部評価委員の意見	7
1.	総括	7
2.	施策ごとの意見	7
V	点検・評価対象事業一覧	15
	【点検・評価の結果（事務事業点検・評価調書）】	17

## I 寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について

### 1. 制度の概要及び目的

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律改正を受け、寒河江市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対する説明責任を果たすため、平成21年度から、前年度に行った事務事業について3名の外部評価委員の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施しております。

今年度は、平成29年度に行った事務事業について点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

### 2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成29年度に実施した教育委員会所管の68事業のうち、事業規模及び市民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な43事業を対象に実施しています。

### 3. 点検・評価の方法

点検・評価の対象とした43事業については、「必要性」、「効率性」及び「有効性」等の観点から総合評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。そしてその内容は、事業ごとに「事務事業点検・評価調書」としてまとめております。

### 4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3名の学識経験を外部評価委員（寒河江市教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容について意見をいただきました。

寒河江市教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
真 木 吉 雄	元山形大学大学院教育実践研究科 教授
佐 藤 美奈子	元教員
大 沼 成 子	寒河江市スポーツ推進委員

## II 教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員会の開催

開 催 日	区分	議案 番号	件 名
平成29年 4月19日	定例	13	寒河江市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
5月19日	定例	14	平成29年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
6月21日	定例	15	寒河江市社会教育委員の委嘱について
		16	寒河江市中央公民館運営審議会委員の委嘱について
		17	寒河江市図書館協議会委員の任命について
		18	寒河江市教育事務評価委員の委嘱について
7月18日	定例	19	平成30年度使用教科用図書の採択について
8月21日	定例	20	教育委員会の事務事業（平成28年度分）の点検・評価について
		21	平成29年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
		22	寒河江市いじめ防止基本方針の一部改正について（追加）
10月24日	定例	23	市立小中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則について
11月22日	定例	24	寒河江市指定有形文化財の指定について
		25	平成29年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
11月29日	定例	26	平成29年教育費補正予算案に対する意見の申出について

開催日	区分	議案番号	件名
平成30年 1月23日	定例	1	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
2月26日	定例	2	寒河江市公民館設置条例の一部改正に対する意見の申出について
		3	平成29年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
		4	平成30年度教育費予算案に対する意見の申出について
3月8日	臨時	5	平成30年度寒河江市立小中学校教職員人事異動内申について
3月22日	定例	6	平成30年度寒河江市教育委員会所属職員の人事異動について
		7	平成30年度教育行政の一般方針について
		8	公民館長の任命について
		9	寒河江市立図書館長の任命について
		10	寒河江市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
		11	史跡慈恩寺旧境内整備基本計画について

## 2. 教育委員会協議会の開催

○開催回数 平成29年4月19日 ほかに11回

○報告及び協議内容

- ・寒河江市体育協会の法人化について
- ・平成29年度市民講座「さくらんぼ大学」について
- ・総合教育会議について
- ・いじめ、不登校の状況について
- ・市教委の視察研修について
- ・教育委員会事務事業点検・評価報告書（平成28年度）の内容について
- ・標準学力調査（NRT）に見る本市の学力の状況について
- ・寒河江市立学校の今後のあり方懇談会の設置について
- ・特認校制度の改正について
- ・史跡慈恩寺旧境内整備基本計画について
- ・平成30年度 教育行政の一般方針(案)について
- ・児童生徒事故報告について

ほか

### 3. 教育委員会会議以外の活動

#### (1) 学校訪問

実施日	実施校	実施日	実施校
平成29年 5月22日	陵南中学校	平成29年 10月25日	寒河江小学校
6月21日	白岩小学校	11月7日	西根小学校
9月27日	幸生小学校	11月14日	高松小学校

#### (2) 総合教育会議

実施日	内 容
平成29年 9月26日	(1) ICTを活用した情報教育の推進について (2) 生涯スポーツの状況について
平成30年 2月20日	(1) これからの寒河江市の学校のあり方について (2) 学力向上について

#### (3) その他調査・研修活動

実施日	内 容
平成29年 4月17日	教育委員会所管事項説明会
5月17日	小学校陸上競技大会
5月25日	山形県市町村教育委員会協議会定期総会・研修会（山形市）
7月6日	西村山市町教育委員会連絡協議会総会及び教育委員研修会
7月11日	市小学校水泳競技大会
8月5日	学校給食試食会（給食主任・調理師合同研修会）
8月5日	山形県市町村教育委員会大会（村山市）
8月14日	市成人式
9月22日	小中学校交歓音楽会
10月6日	公開授業研究（高松小学校）
10月11日	公開授業研究（西根小学校）
10月13日	公開授業研究（寒河江中部小学校）
10月24日	学校給食センター視察
11月22日	西川町コミュニティスクール視察研修（西川町立西川小学校）

### III 施策の体系

## 第2次寒河江市教育振興計画

《基本目標》 ふるさとを愛し、寒河江から夢のある未来を切り拓く人づくり  
 ～ 共に学ぶ 共に育む ～

### 《基本方針》

### 《主要施策》

### 《具体的な施策》

**【基本方針1】**  
 豊かな心と健やかな体を育む

- 1 思いやりの心や規範意識の醸成
- 2 命や生き方を大切にする教育の推進
- 3 健やかな体を育む取組の推進
- 4 食育の推進
- 5 心を育む読書活動の推進
- 6 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組の推進

- 多様な体験と規範意識の醸成
- 基本的な生活習慣の確立
- 学校・家庭・地域が連携した命と生き方を考える教育の推進
- 元気に遊ぶ子どもの育成
- 学校体育の充実
- 豊かな心と命を育む食育の推進
- 幼保小中や家庭、地域が連携した食育の推進
- 地産地消の推進
- 本が好きな子どもの育成
- 自主的な読書活動の支援
- 芸術文化に触れる機会の充実
- 芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造

**【基本方針2】**  
 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む

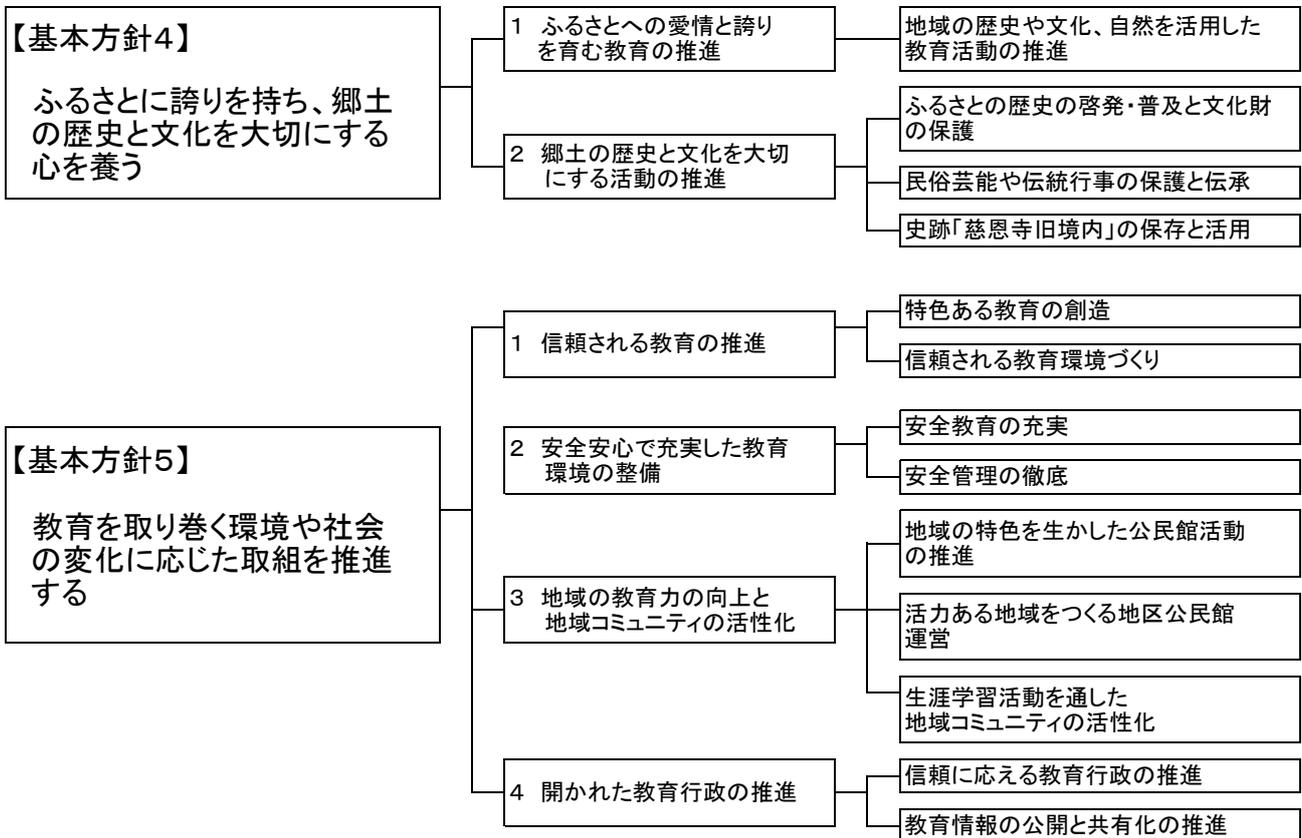
- 1 学びの充実と確かな学力の育成
- 2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進
- 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進
- 4 発達に応じた学びを育む教育の推進
- 5 キャリア教育の推進

- 学ぶ力を高める教育の推進
- 主体的な活動ができる力の育成
- 多様な学習環境づくり
- 特別支援教育の充実
- 教育相談機能の充実
- ICTを活用した情報教育の推進
- 外国語(英語)学習や国際理解教育の推進
- 幼児教育の充実
- 幼保小中高の連携の推進
- 社会的・職業的自立に向けた教育の推進

**【基本方針3】**  
 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する

- 1 自らを高める生涯学習の充実と環境づくりの推進
- 2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進

- 生涯を通じた学習機会の充実
- 共に学び合う体制づくり
- 誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進
- 競技力向上の推進
- スポーツ環境の整備と充実
- スポーツを通じた地域活性化の推進



## IV 外部評価委員の意見

### 1 総括

- 平成21年度から始まった点検・評価も今年度で10年目を数え、評価方法について見直しを図ってもよい時期となりました。本作業は、教育委員会事務局員が前年度の事務事業を自己評価し、その妥当性を外部者が点検評価するのが本旨となっていますが、評価結果の点検に留まることなく、それを次年度以降の事務事業の計画立案と事業執行に発展性をもって供させるようにすることこそ狙いの中心となるべきと考えます。

しかし、本作業の実施時期が7月であることから、評価事項を翌年度の事業に即反映させることができないという課題があります。こうした接続のズレを少なくするための幾つかの手立てを講じることで事務事業が発展的に次年度につながっていくようになるものと思われまます。

- 「事業の実施状況」で実績を示す数値に経年比較や前年度の数値などを併記したり、「今後の対応等」に本年度(評価年度の翌年度)の予算額を明示したりしていることなどから、次年度へのつながりを示す手立ての一つとなっています。「今後の対応等」のなかの「方向性」については、若干根拠が分かりにくい箇所も見受けられるため、「今後の対応」にアイデアを生かした実現性のあるより具体的な提言が示されると、次年度への反映がさらに分かりやすいものになるのではないのでしょうか。
- 自己評価は、得てして寒河江市教育委員会内部の点検と評価に留まってしまう傾向があります。事業によっては他の教育委員会の実施状況と比較するなど、より広い視野に立った評価を行うことが大切です。
- 各事業ごとに一枚に要点がまとめられていて分かり易くなっていると思います。実施状況について、前年度との違いを表記することで、より分かり易くなってくると考えます。

### 2. 施策ごとの意見

#### (1) 生涯学習の推進・充実

##### 【青少年健全育成事業】

- 市青少年育成センターの地道な取組によって、補導件数がさらに減少したことはこれまで以上に高く評価します。最近の問題行動を見ると家庭環境が要因となっているものが増加している傾向があります。その点、陵南中学区で実施されている少年の非行防止及び健全育成に取り組むネットワーク事業は、時宜を得た事業であり更なる成果が期待できます。この取組が、今後全市での取組に発展していくことを要望します。
- 年度を追って補導件数が減少していることは、青少年健全育成事業の取組の成果と言えます。今後共、補導される青少年を生み出さない環境づくりそして当事者である青少

年を含めた事業の展開を期待します。

- 夕刻街頭指導や夜間街頭指導など地道な活動は、続けていくことで青少年の健全育成に寄与していると思います。ただ、犯罪も多様化しており、SNSが発達し、それだけで未然防止が図られているとは考えられない事も事実です。県や地区の各団体と、情報交換できる場が必要であると考えます。

#### 【芸術文化振興事業】

- 自主事業については、財政への要望を継続し、市民のニーズに立った企画がなされるよう取り組むことを期待します。また、総合文化祭の来場者の増加を図るため、企画委員を多世代で構成してみたり、職員や関係者自らの手による斬新なアイデアを生かして取り組んでみたりするなど、より一層の改善が図られるよう前向きに取り組むことが必要です。
- 多世代に応じた様々な事業の展開が集客数の確保につながっています。市民にとって芸術文化に触れる貴重な機会です。事業目的を考えると市民の「見たい」ものを取り上げるだけではなく、市として「触れさせたい」という内容のものを企画委員会の中で検討していくというのも必要ではないでしょうか。
- 市民が質の高い芸術文化にふれることは、心を豊かにするうえで大切なことであると考えます。

特に自主事業については、市民が共有することによって芸術文化に対する資質の向上が図られ、地域の活性化にもつながっていくと考えます。是非、若者向けの実施を希望します。

総合文化祭については、参加団体52団体と多いと思いますが、入場者を増やすにはやはり工夫が必要であり、期日や会場の選び方も考える必要があると思います。

#### 【美術館運営事業】

- 企画展の内容が多岐にわたり、市民にとって魅力ある運営が行われています。事業の評価にあるように、市民の発表の場や若手作家の発表の場の提供が、美術館の特色ある運営として位置づけることで、市民により身近で親しまれる美術館になると思います。
- 親しまれる美術館という点において、ここ数年続けられている企画展において評価されていると思います。  
一歩進んで、現在中央で活躍している寒河江市出身者の作品の展示も希望します。

#### 【公民館活動事業】

- 地域づくりの中核になるのが公民館の大きな役割と考えます。各地区の特色を生かしながらも市として各公民館と連携する事業や運営を今後も続けることを期待します。
- 地域コミュニティの活性化には、各分館の活発な活動が欠かせません。地区公民館と分館が連携して行う事業や学習会など広報誌等で知らせることによって広がりが出てくるように思います。

#### 【放課後子ども教室推進事業】

- 希望に添った受け入れ体制の充実こそまず図るべきことといえます。活動推進員のさらなる増員を図るとともに複数の活動内容を設定するなど、可能な限り参加希望者を受け入れられるよう配慮することを期待します。
- 子ども達にとって貴重な居場所になっており、社会性を養うという教育的な意識も大きいと考えます。指導員不足は大きな問題です。各中学校や高校に呼びかけボランティアスタッフとして活躍してもらおうと中高生にとっても成長の助けとなり青少年の健全育成にもつながります。更に、企画運営にも参加してもらおうことで事業の活性化が図られると考えます。
- 子どもは地域で育てることが理想であるが、現実的には難しいと思います。放課後子どもプラン事業の実施は、子どもたちが社会性を身に付けるうえで必要であると考えます。  
一方、指導員の後継者の確保も急務であると考えます。高校生や大学生のボランティア活動も積極的に行われているようなので募集していくことも必要であると考えます。

#### 【公民館整備事業】

- 計画的に整備が行われ地域活動の活性化につながったとのこと。今後共、各公民館の要求を聞き、「使える」「使いたい」公民館の整備をお願いしたい。
- 地域コミュニティの活性化を図るためにも公民館を安心安全に保つことは重要なことと考えます。

#### 【寒河江さくらんぼ大学推進事業】

- 大学院「慈恩寺の歴史専攻科」は、受講生を主体とした他に例を見ないオリジナリティーにあふれた取組です。それだけに受講生の要望や多様な研究課題に応じられるよう、継続的に開設されるよう工夫していただきたいと思います。
- 中央公民館と4つの地区公民館をキャンパスとし、それぞれの地区での特徴ある内容の講座となっており、魅力ある事業と高く評価します。キャンパスカフェ等で受講生相互の交流も計画、実施されており、参加者が更に周りの市民に広がっていく事業になることを期待します。
- 寒河江さくらんぼ大学はキャンパス制になり、幅が広がり定着してきていると思います。  
受講者も受け身ではなく、自主的に学び、交流する場があることは生き生きとした生活を送るうえで重要であると考えます。

#### (2) 読書活動の推進・充実

##### 【読書の盛んな学校づくり事業】

- 読書活動推進員の方々の活動により、各学校の読書環境が整っています。教職員の要望に沿った学習支援はもちろん、ブックトークや読み聞かせ読書週間での取組等、積極的に児童生徒への働きかけを期待します。
- 本離れが進んでいると言われている昨今、小中学生の時期にきめ細やかな読書指導を受けることは、将来の読書活動に大きく関わってくると考えます。拡大を期待します。

#### 【図書館管理運営事業】

- 入館者・貸出者・貸出冊数の大幅な減少が課題と思われます。入館者の年代別利用の把握や借出時間の検討等利用状況を分析の上の対応かと思われます。貸出対象範囲拡大によりどの位増加が図れるか今年度の様子を見て、更に対策が必要かと思われます。
- 利用状況において、減となるものが多いようですが、原因究明と対処法が必要であると思います。

#### 【図書館資料等購入事業】

- 乳幼児教育の重要性を考え、ブックスタート絵本の継続購入等保護者に働きかけることは大切なことだす。継続的に取り組んでほしいだす。
- 幅広い利用者層に対応した蔵書の充実を希望します。

#### 【読書普及事業】

- 「ビブリオバトル」が東北芸術工科大学とコラボレーションの企画が新規に行われ、読書普及のための活動が充実していることを評価します。引き続き「読書の盛んなまちづくり」を推進していただきたい。
- 幼少期に対応した事業が充実していると思います。  
中高生が参加できる企画を増やすことによつて、魅力ある図書館づくりに寄与すると考えます。

#### (3) 生涯スポーツの推進・充実

##### 【生涯スポーツ振興事業】

- 生涯スポーツ振興事業の参加者が28年度より増加しており、事業の充実が図られたことを評価します。今後共、各団体との連携を図りながら「元気な高齢者が多い寒河江市」を目指していただきたい。
- 市民のニーズの多様化に伴い、各種競技団体と連携し、スポーツに親しむ機会を増やすために、場所や用具など色々な面で支援していくことが必要であると考えます。

##### 【体育施設整備事業】

- 市民体育館の床張り替えやトイレの洋式化、医務室の冷房設備など、利用環境整備を図ったことは、南東北インターハイバレーボール男子競技の成功に導いたことで大きく評価できます。  
今後、大きな大会を招致するうえで、温度調節設備も必要になってくると思います。

##### 【地域スポーツ活性化事業】

- 市を会場にした大きな大会の開催は施設・人材・運営などスポーツ環境が整つて初めて成功へと結びついたので考えられます。2020年度に向けた市の取り組みを今後とも期待します。
- スポーツの競技力向上が地域の活性化を推進することは、ワールドカップやオリンピックなどの活躍で明らかであると思います。若い世代が世界を目指せるように支援していく必要があると思います。

#### (4) 特色ある学校づくりの推進・充実

##### 【さがえっこ育み推進事業】

- 継続が大事と考えます。年度初めのリーフレット配布、市民が目にするポスターの掲示等、更に町角テレビの活用等広報を引き続き取り組んでいただきたい。その上に「さがえっこの育み10か条」の取組状況や結果等を市民に知らせることで市民全体で考えられると思います。
- 今年度から「さがえっこ育みフォーラム」と「子ども・若者健全育成研修会」が連携して子どもたちの健全育成を市全体で考える場を設けることは、学校・地域の垣根を越え子どもたちを見守り育てるという意味で期待したいと思います。

##### 【夢・未来・学校づくり支援事業】

- 「特色ある学校づくり支援事業」への名称変更については学校現場の声に即応した見直しといえます。しかし、1年目での変更という点からみれば、説明不足で事業目的が理解されなかったからとも受け取られてしまいます。早期の見直しについては慎重を期して行うことも大切です。
- 名称の見直しということですが、内容が大事かと思えます。各学校で特色ある教育活動を推進できるような予算の確保を引き続きしていただきたい。

#### (5) 児童生徒の学ぶ力の育成

##### 【教育研究推進事業・学力向上推進事業】

- 教員の資質向上が直接子どもたちの学力向上にもつながっていくと考えられます。教育研究所の役割を研修に重きをおいて行っている取組の成果を是非検証していただきたい。

##### 【理科教育センター運営事業】

- 理科を不得意とする教員が多いという実態を考慮し、理科を嫌いとしめない教員の養成はセンターの大きな役割と考えます。充実した研修になることを期待します。

##### 【英語力育成事業】

- 市内のALTと市外のALTを加えた「English Day」の事業を実施したこと等、英語力向上の取り組みを評価します。また小中が連携した英語教育推進会議を開催し、系統的な学習の取り組みも引き続き行ってほしい。
- 早い時期から生きた英語に触れることは抵抗が少なく受け入れることができると思います。  
国際理解を深める上でも機会を増やせるように期待します。

##### 【教育相談事業】

- 不登校が増加傾向のようです。市で行っているいじめ・不登校の調査等を活用し、各学校の養護教諭との連携を図るなど、早目の対応をとる事業を考えるべきではないでし

ようか。

- 子どもたちの将来に係わる事なので、きめ細やかな対応が必要であると思います。寒陵スクールの設置で救われている保護者や子どもたちが多数いると感じました。

#### 【学習補助員配置事業】

- 「学習補助員」を「学力向上支援員」に名称を変更することで、特別支援への対応のみならず全児童生徒への対応を可能とするものであり、教師の負担軽減の面からも期待できるものです。
- 多様な児童が増えています。引き続き学校で必要な補助員の確保を望みます。

#### 【障害児通学支援事業】

- 個々に応じた支援体制が出来たことは素晴らしいことです。保護者の負担軽減のために引き続き継続してほしい。
- 登下校時にタクシーが利用できるように予算要求を継続していただきたいと思います。

#### 【小中学校 I C T活用支援事業】

- 1名で全部の学校の保守点検では、すぐに機器が活用できないことが予想されます。是非充実を図ってほしい。
- これからは、I C T活用支援員の配置はしない方向のようですが、教職員に不安はないのでしょうか。問題解決の方法はあるのでしょうか。

#### 【就学援助事業（小学校）（中学校）】

- 「新入学学用品等」の援助の開始は、保護者の負担軽減の観点から高く評価します。まだ寒河江市で導入していない援助費内容の拡大を是非検討してください。
- 援助が必要とされる保護者にとっては安心して子供を送り出せるように思います。そのためにも支援していくことが必要と考えます。

#### 【学校給食事業（小学校）（中学校）】

- 給食費の半額補助制度は寒河江市独自の施策であり、他市町へのモデルとなる事業といえます。給食費未納問題の解消との関連性からも、今後継続されることを期待します。
- 寒河江市の伝統野菜3品を使った食育事業の展開は、「作る」「食べる」「広める」と一貫した取り組みが行われ地産地消の推進の点からも高く評価します。
- 小・中学校各々に寒河江ならではの特色のある事業がなされていると思います。郷土料理・特産物を知ることそのひとつで、将来自信と誇りになってほしいと思います。

#### (6) 文化財の保存・活用の充実

##### 【市史編纂事業】

- 市の貴重な史料の散逸・消失を防ぐ取組が適切に行われています。引き続き事業の拡充を図っていただきたい。
- 寒河江のルーツを探る時に辿り着くところが必要と考えます。地道な作業を今後も続けていただき、後世に遺していただきたいと思います。

#### 【文化財保存活用事業】

- 寒河江市内にある文化財をしっかりと保存活用を図る事業は、今後の観光振興につながる大切な事業と考えます。新規の取り組みとして大いに期待します。
- 市指定無形民俗文化財の活動の様子を撮影しデジタル映像化したことで、現在の機器に対応した活用がなされることを希望します。

#### 【郷土館保存事業】

- 来館者リピーターの確保の面からも、大規模な展示替えは急務と思います。次年度に向けて予算の拡充が図れるよう努力していただきたいものです。
- 郷土館一般公開への入館者数が前年度より200人増加したということは、取り組みの効果だと思います。更に、特別展の開催など利用者の拡大を図る事業の工夫を期待します。
- 寒河江の誇れるものの一つとして、適正に維持管理されることを期待します。  
また、野球場まで大型バスの乗り入れができるようになったことで、寒河江を訪れる人にもPRしていただきたいと思います。

#### 【史跡慈恩寺旧境内総合調査事業】

- 今年度から「慈恩寺振興課」が設置されることで、史跡の整備がスムーズに進むよう連携して事業に取り組んでいかれることを期待します。

#### (7) 教育行政に対する関心・意識の高揚

##### 【教育委員会事務局管理事業】

- 総合教育会議の開催にあたっては、市が抱える教育課題について市長部局との共有化を図るためにも、より効果的な開催時期や実施回数で行えるよう更なる努力を図っていただきたいと思います。

#### (8) 教育環境の充実

##### 【小学校管理事業】

- トイレの洋式化が着実に進んでいることは大変望ましいです。これからは暑さ対応など必要な整備事業の優先順位を見極め対応してください。

##### 【中学校管理事業】

- 山形県の学校におけるエアコン設置率が全国35位という報道がありました。命に係わる事も想定し、県と連携しながらエアコン設置を進めていっていただきたい。

##### 【学校保健事業（小学校）（中学校）】

- 教職員の検診受診率の減少理由に多忙化を挙げていますが、特にストレスチェックについては受診方法にも原因があると思われます。減少要因を多面的に分析して受診率の向上に対応していくことが大切です。

- 教職員の心身の不調を早期に発見し対応することは重要なことです。しかしストレスチェックがストレスにならないような手立てを工夫する必要があると思います。

## V 点検・評価対象事業一覧

施策の区分	事業名	担当課	施策体系	頁
① 生涯学習の推進・充実	青少年健全育成事業	生涯学習課	基本方針 1 1	17
	芸術文化振興事業	生涯学習課	基本方針 1 6	18
	美術館運営事業	生涯学習課	基本方針 1 6	19
	公民館活動事業	生涯学習課	基本方針 5 3	20
	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	基本方針 5 3	21
	公民館整備事業	生涯学習課	基本方針 5 3	22
	寒河江さくらんぼ大学推進事業	生涯学習課	基本方針 3 1	23
② 読書活動の推進・充実	読書の盛んな学校づくり事業	学校教育課	基本方針 1 5	24
	図書館管理運営事業	生涯学習課	基本方針 1 5	25
	図書資料等購入事業	生涯学習課	基本方針 1 5	26
	読書普及事業	生涯学習課	基本方針 1 5	27
③ 生涯スポーツの推進・ 充実	生涯スポーツ振興事業	生涯学習課	基本方針 3 2	28
	体育施設整備事業	生涯学習課	基本方針 3 2	29
	地域スポーツ活性化事業	生涯学習課	基本方針 3 2	30
④ 特色ある学校づくりの推 進・充実	さがえっこ育み推進事業	学校教育課	基本方針 1 1-2-3 4-5	31
	夢・未来・学校づくり支援事業	学校教育課	基本方針 1 1-2-3 4-5 基本方針 2 5 基本方針 4 1-2	32
⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成	教育研究推進事業・学力向上推進事業	学校教育課	基本方針 2 1	33
	理科教育センター運営事業	学校教育課	基本方針 2 2	34
	英語力育成事業	学校教育課	基本方針 2 3	35
	教育相談事業	学校教育課	基本方針 2 2	36
	学習補助員配置事業	学校教育課	基本方針 2 1-2	37
	障害児通学支援事業	学校教育課	基本方針 2 2	38

⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成	小中学校 I C T活用支援事業	学校教育課	基本方針 2 3	39
	就学援助事業（小学校）	学校教育課	基本方針 5 1	40
	就学援助事業（中学校）	学校教育課	基本方針 5 1	41
	学校給食事業（小学校）	学校教育課	基本方針 1 4	42
	学校給食事業（中学校）	学校教育課	基本方針 1 4	43
⑥ 文化財の保存・活用の充 実	市史編纂事業	生涯学習課	基本方針 4 2	44
	文化財保存活用事業	生涯学習課	基本方針 4 2	45
	埋蔵文化財調査事業	生涯学習課	基本方針 4 2	46
	郷土館保存事業	生涯学習課	基本方針 4 2	47
	史跡慈恩寺旧境内総合調査事業	生涯学習課	基本方針 4 2	48
⑦ 教育行政に対する関心・ 意識の高揚	教育委員会事務局管理事業	学校教育課	基本方針 5 4	49
⑧ 教育環境の充実	小学校管理事業	学校教育課	基本方針 5 2	50
	中学校管理事業	学校教育課	基本方針 5 2	51
	学校保健事業（小学校）	学校教育課	基本方針 1 3	52
	学校保健事業（中学校）	学校教育課	基本方針 1 3	53
	教育振興事業（小学校）	学校教育課	基本方針 5 1	54
	教育振興事業（中学校）	学校教育課	基本方針 5 1	55
	情報教育推進事業（小学校）	学校教育課	基本方針 2 3	56
	情報教育推進事業（中学校）	学校教育課	基本方針 2 3	57
	スクールバス運行事業	学校教育課	基本方針 2 1	58

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	青少年健全育成事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興計	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 1 思いやりの心や規範意識の醸成 多様な体験と規範意識の醸成 基本的な生活習慣の確立	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 7 青少年育成センター費

## 2. 事業の概要

事業目的	市青少年育成センターを中心に、関係団体と一体となって街頭指導や店舗等への巡回指導を実施し、青少年の健全育成を図る。
事業内容	(1)青少年教育関係諸団体と連携を図りながら、市青少年育成センターによる街頭指導や環境浄化活動等を行う。 (2)青少年育成推進員を委嘱して、青少年の健全育成と非行防止を図りながら、地域における運動を推進する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	511	補正額等		合計	511	決算額	372
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)市青少年育成センターにおいて、民生児童委員及び主任児童委員による年間23回の夕刻街頭指導及び青少年育成推進員による年間11回の夜間街頭指導を実施し、市内の商業ビル、JR駅、レンタルビデオ店、カラオケボックスなどを巡回した。</p> <p>(2)青少年育成推進員が、本屋やコンビニにおける有害図書調査、成人式会場での薬物禁止のチラシ配布等を実施している。</p> <p>(3)子ども・若者健全育成研修会を開催し、鈴木多鶴子氏から「一人一人のいのち輝く社会を目指して～パースカフェに込める想い～」と題して講演をしていただいた。</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1)民生児童委員等による夕刻街頭指導及び青少年育成推進員による夜間街頭指導を継続していることにより、寒河江警察署管内においては、青少年補導件数の減少に繋がっている。(H27 63件、H28 37件、H29 35件)</p> <p>(2)子ども・若者健全育成研修会の講演会では、母と子が命がけで挑戦した「出産」を中心にした講話を聞き、改めて命の大切さについて学ぶことができた。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)市青少年育成センターを中心に、青少年教育関係諸団体との連携を図りながら市内の夕刻及び夜間街頭指導を継続する。 (2)子ども・若者健全育成研修会を、「いじめ・非行をなくそう」をテーマに実施していく。 (3)平成29・30年度の2年間にわたり、陵南中学校区において、学校・保護者・地域住民の方々と警察が一体となって少年の非行防止及び健全育成に取り組むネットワーク事業が実施されるので、こちらの事業にも積極的に関わっていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	芸術文化振興事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系 教育振興計 画	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
	6 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組の推進 芸術文化に触れる機会の充実 芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造		4 社会教育費
			3 芸術文化振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	市民の芸術文化に対する資質向上と、芸術文化に携わる取り組みの推進。
事業内容	多くの市民が質の高い芸術にふれるための自主事業の実施と、芸術文化団体の活動に対する支援。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	10,788	補正額等	88	合計	10,876	決算額	10,808
-------	--------	------	----	----	--------	-----	--------

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 市民文化会館自主事業の実施</p> <p>①第6回 悠久の里慈恩寺コンサート ウェイウェイ・ウー「二胡の響宴」 8月26日(土) 入場者530名 (H28 東儀秀樹「雅の世界」600名)</p> <p>②特撰落語 三遊亭小遊三・円楽「二人会」 9月29日(金) 入場者760名 (H28 野村萬斎と若村麻由美による「平家物語の世界vol.2」 650名)</p> <p>③幼児演劇教室 劇団新児童「ミュージカル ききみみずきん」 10月18日(水) 入場者698名(幼稚園、保育園4・5歳児) (H28 劇団ポプラ「ミュージカル オズの魔法使い」 678名)</p> <p>④よしもとお笑いライブ 12月16日(土) 入場者932名(満席) (H28 漫才コンビ ロザンの「お笑い課外授業」トーク&amp;ライブ 550名)</p> <p>(2) 実行委員会等市民文化団体への支援</p> <p>①県美展寒河江移動展(同 実行委員会主催) 10月11日(水)～10月16日(月) 入場者643名 (H28 510名)</p> <p>②第49回市総合文化祭(市芸術文化協議会主催) 10月27日(金)～11月 3日(金) 参加団体52団体 (H28 参加団体47団体)</p> <p>③第20回寒河江市音楽祭『春を呼ぶコンサート』 3月18日(日) 入場者900名 (H28 936名)</p> <p>(3) 山形交響楽団に対する支援(県内他自治体とともに山形交響楽協会へ負担金を交付して活動を支援)</p> <p>(4) 舞台づくり支援事業(演劇や音楽などの振興を推進するため、地区内高校や社会教育関係団体に支援)</p> <p>①演奏力等向上支援事業 高校1回 社会教育団体6回 (H28 高校0回 社会教育団体5回)</p> <p>②発表会活動支援事業 高校2回 社会教育団体2回 (H28 高校2回 社会教育団体3回)</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1) 自主事業においては、落語やお笑いライブなどの事業を実施し、幅広い年齢層から高い集客を収めることができました。</p> <p>(2) 6回目となる「慈恩寺コンサート」では、観客が立ち上がり曲に合わせて手を振りかざすなど、演者と観客が一体となるような今までにないくらいの盛り上がりを見せるとともに、史跡となった慈恩寺の魅力を大いにPRすることができました。</p> <p>(3) 総合文化祭においては、昨年度より少年少女合唱団と市内中学校(1校持ち回り)の合唱を取り入れたことにより観客層が広がり集客増に繋がった。</p> <p>(4) 自主事業については、市民のニーズに合うものを企画することを求められるが、現実的にはなかなか厳しい状況である。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 自主事業については、幅広い年齢層の市民が、その年代にあった芸術文化を楽しむことができるよう、市民の声を取り上げながら総合的に勘案して実施していく。</p> <p>(2) 若者向けの公演を企画し、若年層の芸術文化に触れる機会を増やす。</p> <p>(3) 「市総合文化祭」や「市音楽祭」等の各団体で実施する事業や、高校・社会教育団体の活動の支援についても引き続き力を入れていき、多くの市民が芸術文化に関わることのできる環境を整備していく。また、観客を増やすために様々な工夫を検討する。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	美術館運営事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 3 芸術文化振興費
教育振興計画	6 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組の推進 芸術文化に触れる機会の充実		

## 2. 事業の概要

事業目的	優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、美術館を通して中心市街地の活性化を図るとともに、市民の芸術文化に対する関心と豊かな心を養い、寒河江のまちの品格を高める。
事業内容	(1) 常設展示のほか、「市民ギャラリー」で特別企画展や企画展を実施するとともに、ワークショップなどの体験企画を実施する。 (2) 親しまれる美術館をめざして、施設整備を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5,711	補正額等	△400	合計	5,311	決算額	4,855
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 特別企画展として、社会福祉施設関係者やボランティアスタッフと実行委員会を組織し、「アートツリーやまがたvol.6」を実施した。</p> <p>① 内容は、施設利用者や若手作家の作品展示や、作者のミニトーク、オリジナルの小物づくりなど。</p> <p>② 平成30年2月4日(日)～2月26日(月)に開催。来場者750名。 (H28「アートツリーやまがたvol.5」H29.2/5(日)～2/27(月)来場者1,356名)</p> <p>(2) 主な企画展として、次の展示等を実施し、身近な芸術作品等にふれる場を提供した。</p> <p>① ワークショップ「泥団子作り」/平成29年7月13日(木)～7月14日(金)。来場者189名。</p> <p>② 佐藤品子個展/平成29年7月17日(月・祝)～7月23日(日)。来場者324名。</p> <p>③ 埋蔵文化財フェア/平成29年7月27日(木)～8月8日(火)。来場者246名。(H28.7/23(土)～8/11(木)来場者358名)</p> <p>④ 若手女流作家4人展/平成29年9月9日(土)～9月24日(日)。来場者736名。</p> <p>⑤ 市総合文化祭(作品展示)/平成29年10月27日(金)～11月3日(金・祝)。来場者160名。 (H28.10/27(木)～11/3(木)来場者250名)</p> <p>⑥ 慈恩寺絵画コンクール/平成29年11月14日(火)～11月28日(火)。来場者234名。(H28.11/13(日)～11/25(金)来場者189名)</p> <p>⑦ せいのまゆみ個展/平成29年12月9日(土)～12月19日(火)。来場者558名。</p> <p>⑧ ワークショップ「テープ遊び」/平成30年1月30日(火)～1月31日(水)。来場者64名。 (「テープであそぼう」H28.10/24日(月)～10/25日(火)来場者101名)</p> <p>(3) 結界柵や照明器具(ダウンライト)など、展示施設の整備を行った。</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1) 若手女流作家4人展や泥団子作り等の企画展が好評だった。</p> <p>(2) 今後も山形県で活動している若手作家等の発掘に努め、発表の場を提供し、体験企画も取り入れ、寒河江市美術館の活性化を図るための支援を続けていく。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 出展者が実行委員会を組織して実施する特別企画展について、実施しやすい環境づくりに努める。</p> <p>(2) 子ども向けの体験企画など、企画展の充実に引き続き取り組む。</p> <p>(3) 館内設備等を整備し、市民や市出身者の作品発表の場や、広報活動にも一層力を入れ、芸術活動の拠点として親しまれる美術館づくりを進めていく。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	公民館活動事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 4 公民館費
教育振興計画	3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 地域の特色を生かした公民館活動の推進		

## 2. 事業の概要

事業目的	社会教育・生涯学習の拠点として、市民の学習ニーズに即した講座や芸術文化、レクリエーション等の各種事業を実施し、生涯学習活動、公民館活動を推進する。
事業内容	(1)各公民館と分館、地域団体が連携しながら、自主的な学習活動や研修会、発表会等の地域づくり活動を支援していく。 (2)中央公民館では、歌を通して豊かな心を育む寒河江市少年少女合唱団の育成指導を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,089	補正額等		合計	4,089	決算額	3,939
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)生涯学習活動や地域活動の拠点として、豊かな人づくりのほか、地域に親しまれる公民館をめざし、各種事業を展開した。</p> <p>①分館活動／市内61分館の分館長・分館主事を中心に、各地域で特色ある分館活動を展開した。</p> <p>②生涯学習活動推進員／23名の推進員が、公民館事業の運営等に協力して取り組んだ。(H28推進員20名)</p> <p>③公民館活動に向けた用具等整備／運動用具や印刷用消耗品など、事業実施のための用具等を各公民館に整えた。</p> <p>④学びのふるさと推進事業／生涯学習の地域力の向上と地域づくりのため、事業共催を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域塾事業／分館と地区公民館が連携し実施する、複数回の学習会など(元町分館)</li> <li>・分館連携事業／分館と地区公民館が連携し、地域活性化を図る活動。(若葉町分館、入倉分館、松川分館、高松分館)</li> <li>・社会教育団体との共催事業／全市のまたは地区を対象とした学習事業や生涯スポーツ振興事業。公民館大会(2月12日(月・祝))</li> <li>・子ども会育成連合会役員研修会(5月27日(土))、地区民レクリエーション大会や文化祭など。</li> </ul> <p>⑤寒河江市少年少女合唱団の育成／小学生から高校生までの21名で構成し、市内外の演奏会出演や施設訪問等を行った。(H28団員16名)</p> <p>⑥各公民館運営会議等の開催／各公民館の事業内容や事業計画について意見を聞き、事業の企画や実施に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館運営審議会／8名。年1回。(H28/8名/年1回) ・東部地区公民館運営会議／16名。年1回。(H28/16名/年1回)</li> <li>・南部地区公民館運営会議／11名。年2回。(H28/9名/年1回) ・柴橋地区公民館運営会議／13名。年1回。(H28/13名/年1回)</li> <li>・西部地区公民館運営会議／20名。年1回。(H28/21名/年1回)</li> </ul>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1)各公民館で、市内61分館で組織する公民館連絡協議会と連携して研修会等を実施し、分館活動の活性化を図った。</p> <p>(2)地区公民館では、各種団体と協力しながら、レクリエーション大会や文化祭などを実施し、地域づくりに努めた。</p> <p>(3)中央公民館や地区公民館事業は運営審議会や運営会議で意見を聴き、各公民館や地域の特色を生かした事業を実施した。</p> <p>(4)寒河江市少年少女合唱団は、定期演奏会を開催し、県少年少女合唱祭、市総合文化祭、福祉施設訪問等で美しい歌声を披露した。今後は、将来を担う小学生団員を増やすことが大きな課題であり、活動をPRしながら団員募集に取り組んでいく。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)地域コミュニティの活性化を図るため、各地区公民館の広報活動について、より一層の充実を図っていく。</p> <p>(2)地域づくりに向けた各地区レクリエーション大会や研修会等を通して、分館と地区公民館の連携を一層強めながら各種事業を実施していくとともに、常に環境を整え、たくさんの人が気軽に訪れる地域の「いいい場」をめざしていく。</p> <p>(3)地区公民館へのコミュニティセンター併設について検討を続けながら、新施設の建築等に取り組み、活力ある地域をつくる地区公民館運営を図る。</p> <p>(4)中央公民館は、寒河江市少年少女合唱団の新規団員の募集を図りながら、演奏やボランティア活動等の指導にあたり、市公民館連絡協議会や市子ども育成会連合会等、全市の団体の活動を支援していく。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	放課後子ども教室推進事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興計 画	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 地域の特色を生かした公民館活動の推進 生涯学習活動を通じた地域コミュニティの活性化	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 10 生涯学習推進費

## 2. 事業の概要

事業目的	放課後や週末及び小学校の長期休業中の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、集団遊びや地域の人々との触れ合いを通して子どもの社会性を養い、さらに、地域の教育力の向上を図る。
事業内容	寒河江市放課後子どもプランの事業として、放課後や週末等に市内の全10小学校児童を対象に教室を開催。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,939	補正額等		合計	1,939	決算額	1,406
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)市内全10小学校児童を対象に、5教室を設け、各教室とも夏休み等を中心に10日間開催した。 【内容】夏休みおさらい学習などの学習活動やカーン及びグラウンド・ゴルフのスポーツ体験、ペットボトル風鈴作りや草木染め体験などの工作活動、昔語りや手話体験、県内外の施設見学など、その他様々な活動を実施した。 【参加人数等】 ・コーディネーター 5名(前年度比 増減なし) 教育活動推進員 39名(前年度比 2名減) 参加者総数 313名(前年度比 10名減) (参加者内訳) 寒河江小・西根小・三泉小107名(前年度比 15名減) 寒河江中部小89名(前年度比 1名減) 南部小36名(前年度比 2名減) 柴橋小61名(前年度比 10名増) 高松小・醍醐小・白岩小・幸生小20名(前年度比 2名減)</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1)各教室において、事業内容に工夫をこらし、学年間の交流、地域の方々との交流が図られ、充実した教室を展開することができた。 (2)各教室とも、指導員の後継者不足が心配されている。 (3)放課後児童クラブとの連携やこの教室の経験者(卒業生)が中学生になってから、ボランティアスタッフとして参加し、子ども達の面倒をみってくれるという好ましい流れは継続しており、今後も継続していく。 (4)教室によっては、会場の都合上、参加希望者を全て受け入れられない状況です。拡充したくても、そのような場所がないことが課題となっている。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)子ども達の社会性を高めるため、地域の大人との触れ合いや自然体験の機会を盛り込み、放課後児童クラブとも連携しながら事業を行っていく。 (2)指導員の後継者の確保に努め、教室の運営体制の充実を図っていく。 (3)この事業を通して、子ども達の地域活動への参加促進につながっていく流れをつくっていく。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	公民館整備事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費
教育振興計画	3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 地域の特色を生かした公民館活動の推進		

## 2. 事業の概要

事業目的	地域のコミュニティの核である分館の整備を支援し、機能充実を図ることで更なる地域力の向上を目指す。
事業内容	(1)分館の新築・増改築、駐車場舗装及び耐震改修等の整備事業に対し、予算の範囲内で事業費の一部を補助する。 (2)平成28年度から新たに修繕及び設備の整備(エアコン設置・照明のLED化)が、補助の対象になる。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	15,148	補正額等	15,103	合計	30,251	決算額	30,251
-------	--------	------	--------	----	--------	-----	--------

## 4. 事業の実施状況

(1) 田代分館駐車場舗装整備工事 事業費 1,944,000円 面積等 424㎡ 完成年月日 平成29年 5月25日 補助金額 1,296,000円
(2) 末広分館耐震補強等改修工事(耐震補強・便所等改修・照明LED化・エアコン設置) 事業費 11,703,960円 面積等 221.91㎡ 完成年月日 平成29年 8月 3日 補助金額 6,118,000円
(3) 下河原分館エアコン設置工事 事業費 325,490円 面積等 1台 完成年月日 平成29年 5月29日 補助金額 108,000円
(4) 新町分館修繕工事(内装工事・照明LED化) 事業費 765,888円 面積等 一式 完成年月日 平成29年 8月 9日 補助金額 255,000円
(5) 道生分館トイレバリアフリー化等改修整備工事(トイレバリアフリー化・照明LED化・エアコン設置) 事業費 3,380,400円 面積等 一式 完成年月日 平成29年 9月 1日 補助金額 2,704,000円
(6) 陵南町分館エアコン設置工事 事業費 1,728,000円 面積等 4台 完成年月日 平成29年 7月13日 補助金額 576,000円
(7) 金谷分館トイレ改善及び和室壁補修等工事 事業費 5,464,800円 面積等 一式 完成年月日 平成29年10月25日 補助金額 1,821,000円
(8) 上高屋分館整備工事(屋根塗装替え・エアコン設置) 事業費 725,886円 面積等 一式・1台 完成年月日 平成29年 7月24日 補助金額 241,000円
(9) 中河原分館照明LED化工事 事業費 286,200円 面積等 一式 完成年月日 平成29年 8月 2日 補助金額 95,000円
(10) 柴橋分館エアコン設置工事 事業費 1,620,000円 面積等 6台 完成年月日 平成29年 9月12日 補助金額 540,000円
(11) 箕輪分館新築工事 事業費 29,376,000円 面積等 153.61㎡ 完成年月日 平成29年12月 7日 補助金額 15,000,000円 外4工事 補助金額 1,497,000円

## 5. 事業の評価

14分館において整備が図られ、地域活動の活性化に繋がった。
-------------------------------

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)各分館に対して、分館の整備に係る意向調査を行い、事業を進めていく。 (2)分館の耐震化について、地域における拠点施設として安心安全を確保するため、引き続き推進していく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	寒河江さくらんぼ大学推進事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 4 公民館費
教育振興計画	1 自らを高める生涯学習の充実と環境づくりの推進 生涯を通じた学習機会の充実 共に学び合う体制づくり		

## 2. 事業の概要

事業目的	生涯学習と交流の場として、中央・地区公民館をつないだ、誰もが自己実現のため生き生きと学び、学びを通じた触れ合いで人とひとがつながり、学びの成果が地域で輝きまちを育てるための「市民大学」を開設する。
事業内容	(1)中央公民館と4つの地区公民館をキャンパスとした、市民講座を実施する。 (2)講師は著名人や地域で活躍する方などを、幅広く選定する。 (3)講座の実施にあたっては、受講生による運営委員が主になり、自主的運営を進めていく。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,388	補正額等		合計	3,388	決算額	3,139
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

<p>中央公民館と4つの地区公民館の5つのキャンパスにおいて、6学部1大学院の構成で市民講座を実施した。受講生延べ223名。</p> <p>・開講講座／夏季五輪平泳ぎ金メダリストで、スイミングアドバイザーの岩崎恭子氏を迎え7月8日(土)に実施した。受講生172名。(H28/中央公民館と4地区公民館の5キャンパス7学部。受講生延べ250名。開講講座／管理栄養士・樋口順子氏。受講生175名。)</p> <p>・キャンパス及び学部構成</p> <p>(1)中央キャンパス(中央公民館)</p> <p>①大学院「慈恩寺の歴史専攻科」／慈恩寺の歴史についての講義と、城郭群(跡)を巡る現地研修を実施。 7月26日(水)～10月19日(木)に4回。受講生延べ50名。</p> <p>②生き生き元気学部／主に60歳以上の方を対象に、生田流琴曲鑑賞、太極拳、こけし絵付け、音楽講座を実施。 7月19日(水)～10月18日(水)に4回。受講生延べ165名。(H28 受講生延べ223名)</p> <p>③歴史学部／古絵図・古文書の見方や調べ方を学び、慈恩寺の歴史講座(大学院公開講座)を実施。 9月5日(火)～11月22日(水)に4回。受講生延べ251名。(H28 受講生延べ228名)</p> <p>(H28 進・芸術ふれあい学部／受講生延べ58名)</p> <p>(2)東部キャンパス(東部地区公民館)</p> <p>①チャレンジ翔学部／里山トレッキング、クマムシ伝説、そば打ち体験、アフリカ太鼓生演奏・体験を実施。 9月10日(日)～11月7日(火)に4回。受講生延べ111名。(H28 チャレンジ匠学部／受講生延べ122名)</p> <p>(3)南部キャンパス(南部地区公民館)</p> <p>①お楽しみ映画学部／映画製作講座、映画鑑賞講座、映画音楽講座、映画館運営講座を実施。 8月30日(水)～10月22日(日)に4回。受講生延べ147名。(H28 身近な地形学部／受講生延べ157名)</p> <p>(4)柴橋キャンパス(柴橋地区公民館)</p> <p>①ふるさと匠の技学部／ミニ畳作り、陶芸体験、教養講座(絨毯作りにかける情熱)、実技講座(カッティングボード作り)を実施。 8月4日(金)～10月11日(水)に4回。受講生延べ133名。(H28 緑・体感学部／受講生延べ100名)</p> <p>(5)西部キャンパス(西部地区公民館)</p> <p>①地域発見学部／郷土教養講座(谷沢方言)、民俗芸能講座(日和田弥重郎花笠田植踊)、郷土料理講座、豆腐作り体験を実施。 7月21日(金)～12月2日(土)に4回。受講生延べ81名。(H28 受講生延べ111名)</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)「学びで築く ひと・まち・未来」を全体方針として、各公民館をキャンパスに、6学部1大学院で市民講座(4年目)を実施した。</p> <p>(2)キャンパス・カフェなどで受講生相互の交流を深めたほか、講座の実施にあたっては、運営委員が活躍した。</p> <p>(3)講座終了後には、運営委員で次年度の学部構成や講座内容について検討した。新たな受講者獲得と平均年齢の引き下げが課題である。</p> <p>(4)高度に専門的に学ぶ大学院については、運営委員会で検討し、受講生の要望に応え次年度も継続設置する。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)平成30年度も、慈恩寺について高度に専門的に学ぶ「大学院」を継続して開設する。</p> <p>(2)学部や講座内容を一部見直し、新たな受講者を募り、仲間づくりの輪を広げる。</p> <p>(3)地域づくりの実践的なりーダーを育む「地域づくりマイスター養成講演会」を実施する。</p> <p>(4)運営委員会を中心に「自分たちがつくる講座」をめざして、自主的運営を一層推進する。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	読書の盛んな学校づくり事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	5 心を育む読書活動の推進		1 教育総務費
	本が好きな子どもの育成		3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	読書の盛んな学校づくりの推進を図り、読書好きな子どもを育成する。
事業内容	(1) 読書活動推進員を学校に配置し、学校における読書環境の整備を行うとともに、読み聞かせやブックトーク等の実践により国語科の授業を充実させる。 (2) 「図書館管理システム」を有効に活用することにより、児童生徒の読書環境の充実を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5,652	補正額等		合計	5,652	決算額	5,388
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

(1) 読書活動推進員の配置	① 配置人数 5名 ② 配置校 寒河江小・西根小・(陵東中) 寒河江中部小・三泉小 南部小・柴橋小・(陵南中) 醍醐小・高松小・(陵西中) 白岩小・幸生小 ③ 業務内容 児童生徒への読書指導及び図書選定の助言、図書室の整備、学習支援 その他児童生徒の読書活動推進のための業務 ④ 勤務体制 年間200日程度、各小学校に曜日ごとに2~3日の勤務、中学校は、必要に応じて対応
(2) 読書環境の整備	① 図書館管理システムのサポート業務の委託

## 5. 事業の評価

(1) 図書環境の整備や蔵書整理、児童生徒に対する読書の啓発活動、ブックトークや読み聞かせなど、特に国語の授業支援に積極的に関わり、担任と連携を取りながら児童生徒の学びを充実させることができた。
(2) 各学校に導入している図書館システムにより、蔵書や貸出・返却状況を把握するだけでなく、一人一人の読書冊数や読書傾向も把握することができ、読書指導に役立っている。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 読書の盛んな学校づくりの推進や、読書が好きな児童生徒の育成のために、配置している5名の読書活動推進員で市内すべての小中学校を受け持つ体制を今後も継続していく。 (2) 各学校における図書環境の整備と教員と連携した学習支援を引き続き推進し、さらなる読書活動の充実や授業改善につなげていく。 (H30予算 5,388千円)

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	図書館管理運営事業	所管課・係	生涯学習課 図書館：業務係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 5 心を育む読書活動の推進 本が好きな子どもの育成 自主的な読書活動の支援	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 5 図書館費

## 2. 事業の概要

事業目的	図書館の機能充実と良好な環境の維持を図るため、施設の保守管理や修繕等を行い、利用者の利便性の向上を図る。
事業内容	(1) 図書館機能の充実と施設の適切な維持管理を行うため、空調機器保守点検、清掃や機械警備を業務委託する。 (2) 経年劣化に伴う施設設備の整備、修繕を計画的に行う。 (3) 更なる読書環境の充実のため市民のニーズに的確に対応する管理運営を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	23,547	補正額等		合計	23,547	決算額	22,775
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

## 4. 事業の実施状況

(1) 保守点検、管理運営業務等	① 設備管理業務、機械警備業務、清掃業務、冷暖房設備保守、自動ドア保守、エレベーター保守、コンピューター保守 外 業務委託 ② 図書館情報システム賃借、駐車場賃借 外
(2) 工事、修繕等	高圧ケーブル入替工事、冷暖房設備、消防設備、建具・家具等修繕 外
(3) 利用状況	① 入館者数 105,313人(6,648人減) ② 開館日数 330日(増減なし) ③ 貸出者数36,179人(2,356人減) ④ 貸出冊数139,717冊(12,299冊減)

## 5. 事業の評価

(1) 図書館の適切な管理運営により快適で利用しやすい環境を提供している。
(2) 施設等の維持管理による安全性と、図書館機能の充実による利用者のニーズに対応したサービスの向上に努めており、市内外からの入館者の多様な利用につながっている。
(3) 和室コーナーの模様替えや試行的に会議室を学習室としての提供、駐車場の案内表示等の整備により、利用者の利便性を確保した。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 図書館施設の適切な管理運営に努め、利用者サービスの向上を図り、安全で安心な環境の維持管理を行う。 (2) 貸出対象範囲拡大の効果による入館者・貸出者・貸出冊数等の増加を図る。 (3) 生涯学習の拠点として誰もがいつでも快適に利用できる図書館づくりを進める。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	図書資料等購入事業	所管課・係	生涯学習課 図書館・業務係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 5 心を育む読書活動の推進 本が好きな子どもの育成 自主的な読書活動の支援	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 5 図書館費

## 2. 事業の概要

事業目的	公立図書館に備えておくべき蔵書の整備を基本とし、図書資料等の充実を図る。
事業内容	(1) 利用者の幅広いニーズに対応するため蔵書の整備を進める。 (2) 一般図書、児童図書、視聴覚資料(DVD等)、雑誌等について、「図書館資料選定要領」に基づき、計画的に購入する。

## 3. 予算額・決算額

当初予算額	8,817	補正額等	5,000	合計	13,817	決算額	13,734
-------	-------	------	-------	----	--------	-----	--------

(単位:千円 千円未満切上げ)

## 4. 事業の実施状況

(1)図書館蔵書状況(平成30年3月末)			
① 一般書	100,867冊(前年度比 1,116冊減)	「購入冊数	4,066冊
② 児童書	29,500冊(前年度比 968冊減)	「購入冊数	1,082冊
③ 視聴覚資料(音響・映像)	2,653点(前年度比 1,422点減)	「購入点数	22点
④ 雑誌等	2,755冊(前年度比 928冊減)	「購入冊数	907冊

## 5. 事業の評価

(1) 郷土の歴史や文化、地域情報誌など幅広い資料の収集と整備に努め、「寒河江の人物・行事」リーフレットを毎年作成し、市内の小中学校等に配布している。
(2) 乳幼児期からの読書機会を提供するため、ブックスタート絵本の継続購入やおはなし会用の大型絵本・紙芝居等を購入した。
(3) 図書館に備えておくべき図書資料等を基本とし、ニーズの高い新刊図書資料等の選定やリクエストに応えた図書資料等の購入により、幅広い利用者層に対応した蔵書の充実を図った。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	利用者ニーズを的確に把握し、図書資料等を幅広く継続的に購入していく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	読書普及事業	所管課・係	生涯学習課 図書館：業務係
施策体系 教育振興計	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 5 心を育む読書活動の推進 本が好きな子どもの育成 自主的な読書活動の支援	予算科目	10 教育費
			4 社会教育費
			5 図書館費

## 2. 事業の概要

事業目的	読書への興味と関心を促すため、読書機会の提供と啓発に努め、魅力ある図書館づくりを進める。
事業内容	読書推進団体との連携を深め、図書館自主事業や図書推薦コーナー等を継続的に実施する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,646	補正額等		合計	2,646	決算額	2,373
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 定例事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ボランティアグループによる「おはなし会」の開催(4団体・約120回 前年度比増減なし)</li> <li>② 子どもに読ませたい本のコーナー等の設置(通年)</li> <li>③ 「最新新刊書コーナー」「ブックテマコーナー」「ミニブックテマコーナー」等の設置(通年)</li> <li>④ 「ティーンズコーナー」の拡大</li> <li>⑤ 新入生及び未登録児童の一斉登録事業の実施(182名 前年度比10名減)</li> <li>⑥ 市子育て推進課、健康福祉課及びブックスタートサポーターとの連携で「ブックスタート事業」実施(12回 前年度比増減なし)</li> <li>⑦ 3ヵ月児健診時と子育て支援施設への出張による「絵本の部屋」開催(24回 前年度比増減なし)</li> <li>⑧ 展示ホールを活用した多様な展示会等を開催(10団体他 前年度比3団体減)</li> </ul> <p>(2) 図書館自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「さくらんぼの都市さがえ全国俳句大会」の開催 7月2日 文化センター 202名参加 前年度比8名減)</li> <li>② 「さがえ図書館まつり2017 夏まつり」の開催 (8月6日 図書館 344名参加 前年度比64名増)</li> <li>③ 「シリーズ山形の文学を探る」の開催 (9月～11月・全4回 図書館、現地視察 延べ102名参加 前年度比98名減)</li> <li>④ 「長岡弘樹氏 読書講演会」の開催 (10月21日 文化センター中央公民館ホール 34名参加 前年度比56名減)</li> <li>⑤ 「MあんどB人形劇公演」の開催 (10月27日 図書館 市内幼稚園・保育所ほか対象 310名参加 前年度比90名減)</li> <li>⑥ 「さがえ図書館まつり2017 冬まつり」の開催 (12月10日 図書館 469名参加 前年度比89名増)</li> <li>⑦ 「ビブリオバトル」(東北芸術工科大学とのコラボレーション企画)の開催(2月17日 図書館 33名参加)</li> <li>⑧ 安孫子荻聲ギャラリー常設展示</li> </ul>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1) 定例事業の定着化や図書館自主事業の継続的な実施により、図書館や読書への関心を高め読書の普及拡大につながっている。</p> <p>(2) 乳幼児期からの読書推進を目的とした「ブックスタート事業」、ボランティアグループによる「おはなし会」など好評を得ている。</p> <p>(3) 中高生を対象とした「ティーンズコーナー」の拡大や旬をテーマにした「ブックテマコーナー」の継続等、読書活動の広がりに繋がった。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 魅力ある読書普及事業を継続的に実施し、読書機会の提供と広がりに努める。</p> <p>(2) 「読書の盛んなまちづくり」を推進する。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	生涯スポーツ振興事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興室スポーツ振興係
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、いきいきと学び続ける取組を推進する。 2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進 誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進 競技力向上の推進 スポーツを通じた地域活性化の推進	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費

## 2. 事業の概要

事業目的	市民一人ひとりが、いつでもスポーツに親しむことができる社会環境の実現を目指す。
事業内容	(1)年間を通じた体育施設の利用とスポーツ振興を図るため、指定管理者や各種スポーツ団体と連携し各種教室等の開催 (2)スポーツに親しむ基盤整備とスポーツ人口の拡大を図るため、各種スポーツ大会の開催支援。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	8,002	補正額等	0	合計	8,002	決算額	7,972
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

<p>より多くの市民がスポーツに親しむことができるように、市スポーツ推進委員の協力及び一般社団法人寒河江市体育協会へ一部事業を委託し、様々なスポーツ教室や講習会等の実施を通して、多くの市民にスポーツを楽しむ機会を提供した。また、各種スポーツ大会を開催し、競技力向上に努めた。</p> <p>(1)生涯スポーツ推進事業            ①市スポーツレクリエーション祭(1回 503名)      ②市民スキー教室(1回 97名)      ③ちびっこスポーツ教室(10回 265名)            ④ジュニアスポーツ教室(10回 223名)      ⑤成人スポーツ講座(8回 65名)      ⑥ノルディックウォーキング(8回 120名)</p> <p>(2)ニュースポーツ出前教室(6回 6種目 378名)            (3)スポーツ少年団育成事業(指導者・育成母集団研修会 1回 70名)            (4)市体育協会育成事業(表彰・激励事業、モンテディオ山形支援事業、スポーツ講演会事業、スポーツ少年団活動支援事業)            (5)さくらんぼマラソン大会事業(参加者2,242名)</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)生涯スポーツ推進事業については「一般社団法人寒河江市体育協会」が、ニュースポーツ出前教室については「寒河江市スポーツ推進委員」が主に担当し、それぞれの組織の持ち味を活かした活動を展開した。            (2)より多くの市民に楽しくスポーツに親しむ機会を提供することができたことで、スポーツ人口の拡大につながっている。            (3)各種スポーツ大会の開催により、競技力の向上を図った。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)本事業については、誰もが参加でき、スポーツに親しむことができる事業を中心に実施してきた。 (2)平成30年度については、一般社団法人として設立した寒河江市体育協会の活動を支援し、地域における生涯スポーツを推進する。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	体育施設整備事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興室スポーツ振興係
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する 2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進 スポーツ環境の整備と充実	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費

## 2. 事業の概要

事業目的	安全、安心快適で利用しやすい体育施設の整備を図る。
事業内容	(1)市民体育館の利用環境向上の向けて便所洋式改修工事を行う。 (2)インターハイの競技会開催基準を満たすため、競技用備品の整備を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5,352	補正額等		合計	5,352	決算額	5,352
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

(1) 体育施設について、次の業務を実施した。	
① 寒河江市市民体育館便所洋式改修工事	2,679 千円
② 冷房設置工事	411 千円
③ プール循環装置交換修繕	1,026 千円
④ バレーボール用備品購入	1,206 千円
⑤ 野球場グラウンド整備用砂	30 千円

## 5. 事業の評価

(1)平成29年度南東北インターハイ「バレーボール男子競技」の寒河江市開催を成功に導いた。 (2)トイレの洋式化により、市民体育館の利用環境向上が図られた。
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	今後も体育施設の利用環境の向上を図るため、施設の整備・改修工事を計画的に進めていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	地域スポーツ活性化事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興室スポーツ振興係
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する	予算科目	10 教育費
教育振興計 画	2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進		5 保健体育費
	誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進 競技力向上の推進 スポーツを通じた地域活性化の推進		1 保健体育総務費

## 2. 事業の概要

事業目的	市民一人ひとりが、いつでもスポーツに親しむことができる社会環境の実現を目指す。
事業内容	(1)全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技(インターハイ)の開催事業。 (2)スポーツ競技力向上に向けた補助事業及び全国大会等出場者への激励事業。 (3)障がい者スポーツの振興に向けた支援事業。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	8,483	補正額等		合計	8,483	決算額	7,339
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

<p>インターハイの本市開催に向け、競技の実施及び各校からの選手の受入れ体制等を準備し、大会を成功に導いた。また、スポーツ競技力向上の為の補助事業や全国大会等出場者への激励事業を実施する一方で、指導者育成に向けたスポーツ講演会や障がい者スポーツのための環境整備とトップ選手による教室を行った。</p> <p>(1) インターハイ開催負担金 3,076千円 (2)スポーツ競技力向上等支援事業費補助金 (11件) 212千円 (3)全国大会等出場激励金 (78名) 465千円 (4)障がい者スポーツ事業(サウンドテーブルテニス教室 (5回 64名) サウンドテーブルテニス用備品整備 301千円 (5)スポーツ講演会 (120名)</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1)インターハイの開催に向けて競技スポーツ専門員を配置し、大会の受入れ体制づくりを強化することで、大会運営の円滑化と開催の成功を図った。 (2)スポーツ競技力の向上が図られ全国大会等の上位大会への出場意欲が増加した。 (3)障がいの有無にかかわらず誰もが楽しむことができるサウンドテーブルテニスの体験を通して、共生社会への理解拡大につながった。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)2020東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、ホストタウン事業及び障がい者スポーツ事業を展開していく。 (2)グリバーさがえの施設環境を活用し、トライアスロン大会の開催を支援する。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	さがえっこ育み推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 教育振興計 画	<b>【基本方針1】</b> 豊かな心と健やかな体を育む 1 思いやりの心や規範意識の醸成 多様な体験と規範意識の醸成 基本的な生活習慣の醸成 2 命や生き方を大切にする教育の推進 学校・が低・地域が連携したいのちと生き方を考える教育の推進 3 健やかな体を育む取組の推進 元気に遊ぶ子どもの育成 4 食育の推進 豊かな心と命を育む食育の推進 5 心を育む読書活動の推進 自主的な読書活動の支援	予算科目	10 教育費
			1 教育総務費
			3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	子どもたちを育むための指針「さがえっこの育み10か条」を核とし、学校・家庭・地域が連携しながら広くその取り組みを推進し、未来を担う子ども達を健やかに育む。
事業内容	さがえっこ育み推進本部を設置し、事業の周知啓発を行う。また、各小学校区に学校支援地域本部を設置し、地域で学校を支援する仕組みづくりを行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,202	補正額等		合計	4,202	決算額	4,169
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

(1) 推進本部の設置	①教育長を本部長とし、学校、幼稚園・保育所、保護者、地域の代表、関係各課長等を構成員とする会議を年3回開催し、事業の推進方策等を検討 ②平成23年度に制定した指針「さがえっこの育み10か条」について、年度始めにリーフレットを6,500部作成し、幼稚園・保育所、小中学校の保護者・教職員、に配布。加えて、ポスターを200部作成し、学校、幼稚園・保育所、公民館などに掲示 ③ポスター作成し、幼稚園・保育所、小中学校、公民館等に配付・掲示 ④「さがえっこの育み10か条」について、PTA総会時に話をしたり、各公民館に掲示したりするなどの啓発活動を実施 ⑤「さがえっこ育みフォーラム」の企画と開催 田澤雄作氏の講演「笑顔あふれるさがえっこの育成のために～ のぼさうメディアと上手に関わる力～」とシンポジウム
(2) 学校支援地域本部事業	①各小中学校に学校支援地域本部を設置し、地域住民が学校を支援する学校支援ボランティア活動を推進 ※学校支援ボランティアの総数 2,227人

## 5. 事業の評価

(1) 「さがえっこの育み10か条」の普及	小中学校では、学校の実態に合わせ、それぞれ、「さがえっこの育み10か条」に関わる取り組みを展開した。リーフレットやポスターを公共機関に配付し、掲示することで、「さがえっこの育み10か条」が多くの人の目に触れ、浸透してきている。
(2) 学校支援地域本部事業について	もすべての小中学校に「学校支援地域本部」を設置し、学校支援ボランティア活動を展開した。学校支援ボランティアとしてかかわる地域住民や保護者の協力の下、各学校の教育活動の充実につながった。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)平成30年度は、ミニのぼり旗を作り、学校、公民館、図書館等に掲示して、更なる市民への認知度を高めていく。 (2)「さがえっこ育みフォーラム」を開催し、健全なさがえっこの育成を市民全体で考える場を設ける。 (3)学校支援地域本部については、コーディネーターが配置されていない小学校にも、段階的に配置をし、今後も小中学校にかかわってくれる地域住民を増やしていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	夢・未来 学校づくり支援事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 教育振興計 画	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 1 思いやりの心や規範意識の醸成 多様な体験と規範意識の醸成 基本的な生活習慣の醸成 2 命や生き方を大切にする教育の推進 学校・が低・地域が連携したいのちと生き方を考える教育の推進 3 健やかな体を育む取組の推進 元気に遊ぶ子どもの育成 4 食育の推進 豊かな心と命を育む食育の推進 5 心を育む読書活動の推進 自主的な読書活動の支援	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費
	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 5 キャリア教育の充実 社会的・職業的自立に向けた教育の推進		
	【基本方針4】 ふるさとの誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進 1 ふるさとへの愛情と誇りを育む教育の推進 地域の歴史や文化、自然を活用した教育活動の推進 2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進 民俗芸能や伝統行事の保護と伝承		

## 2. 事業の概要

事業目的	児童生徒がふるさとを知り、学び、体験し、郷土を愛する心を育む教育活動並びにふるさとの未来を担う児童生徒に豊かな心や健やかな体を育む教育活動を支援するため
事業内容	子どもたちの学力や体力・道徳心の向上、基本的な生活習慣の確立など、学校が家庭や地域と連携して取り組む活動や、地域の実態に応じた特色ある教育活動を支援する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,000	補正額等		合計	3,000	決算額	2,950
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 各学校では、第2次教育振興計画の基本目標に迫るため本事業を活用し、家庭や地域と連携した取組を展開している。 (例) 豊かな心と健やかな体づくりの学習・・・食育推進活動や子どもの生活リズムの確立を図る活動、読書の盛んな学校づくり活動など ふるさとに関わる学習・・・慈恩寺の歴史にまつわる学習、太鼓や田植え踊り、大黒舞などの伝統芸能・文化を生かした学習など</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1) 各学校では、趣旨に基づいて本事業を有効に活用し、学校における特色ある教育活動や体験的な活動を計画し展開している。 (2) 予算については、適正かつ有効な配分になるように、学校規模や児童生徒数だけでなく、提出された事業計画を十分に精査し、事業の重要度や必要性等を考慮しながら配当を行っている。 →各学校ごと教育効果が上がるような活動を考え、主体的に工夫を凝らした活動を展開できた。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	「夢・未来 学校づくり支援事業」という名称で1年間事業を展開してきたが、事業名から、どのようなことをする事業なのか分かりにくいという声があった。地域や学校ごとの特色を活かした教育活動を推進することで、子どもたちのよりよい成長を促すことが分かるように、「特色ある学校づくり支援事業」という名称に変更する。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育研究推進事業・学力向上推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 教育振興計 画	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 学ぶ力を高める教育の推進 主体的な活動ができる力の育成	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費 4 教育研究所費

## 2. 事業の概要

事業目的	教職員の資質を向上させるとともに、児童生徒の学力の状況を把握し、学力の向上を図る。
事業内容	(1) 教育研究所を設置し、各研究部、研修部等における教職員の主体的な研修活動を行う。 (2) 学力検査や知能検査、学級集団状態調査を実施し、結果の分析を行うとともに、これに基づく学力向上対策や授業改善を実践する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	8,142	補正額等		合計	8,142	決算額	6,952
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

(1) 学力検査・知能検査・学級集団実態調査 ① 小2～中3における教研式NRT学力検査の実施(国語及び算数・数学: 全学年、理科: 小4以上、社会: 小6以上、英語: 中2以上) ② 小2、4、6、中1における知能検査の実施 ③ 中1～中3における学級集団実態調査の実施(年1回) (2) 教育研究所 ① 研修部 22部会(陵東・陵南学区各7部会、陵西学区4部会、養護教諭部会、学校事務部会、学校栄養職員部会)(研修会各2回) ② 研修会 ○ 全体研修会(8月1日) 元 山形大学大学院教育実践研究科 教授 森谷留美子氏 「通常学級での支援の在り方について ～通常学級での授業づくり、学級づくり～」 ③ 学力向上対策委員会 ○ 学力対策委員会の開催(5月・1月) ○ 教研式NRT学力検査結果の分析と、報告書「つきたい力」の作成・配布 ○ 結果を受けて、各学校での個に応じた指導や授業改善の取り組み ④ 課題研究部会 ○ 各校の道徳教育の現状と課題について ○ 道徳の「教科化」に向けての各校の進捗状況と今後の取り組みについて ⑤ 公開授業研究会 ○ 中学校区ごと1校ずつ公開を行った。(西根小、寒河江中部小、高松小)
---

## 5. 事業の評価

(1) 研修部会 各学区の課題を洗い出し、課題を解決するためにはどのような取り組みをすればいいのかを話し合いながら情報交換を行ったり、小中お互いの授業を見合ったりすることで、中学校区ごとの小中連携を進めることができた。
(2) 全体研修会 通常学級における特別に支援な児童生徒に対する接し方や児童生徒理解に基づく授業づくりについて、具体的な事例をもとに講演をしていただいた。参加者にとって、次の日から使えるものであると、大変好評であった。
(3) 学力対策委員会 委員の先生方から、NRT学力検査をもとに、小中連携を意識して「つきたい力」を教科ごとに明らかにして提案するとともに、各校での学力向上の取り組みについて実践発表をしていただき、各校での学習指導や指導改善に役立てることができた。
(4) 課題研究部会 道徳の教科化に向けて、土台となる全体計画をどのように整えていくのか、表かはどうやっていくのかを情報交換しながら研修し、学校ごとの足並みをそろえることができた。
(5) 公開授業研究会 中学校区ごと授業公開することによって、中学校区ごとの小中連携を図りながら、授業改善をより強く進めることができた。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 小学校の外国語の教科化に向けて、課題研究部の研究内容を外国語について研究していく。 (2) 小4と中1に市独自の学力調査(業者テスト)を行い、早い段階から課題を見つけ、授業改善に活かす。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	理科教育センター運営事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	1 学びの充実と確かな学力の育成		1 教育総務費
	学ぶ力を高める教育の推進		3 理科教育センター費

## 2. 事業の概要

事業目的	小中学校における理科教育の充実と、教員の資質向上を図る。
事業内容	寒河江市理科教育センターを設置し、理科教育に関する調査研究、研修、備品器具類の貸し出し、会報の発行等を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	159	補正額等		合計	159	決算額	151
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

## 4. 事業の実施状況

(1) 運営委員・所員合同会の開催 (4月・2月)	
(2) 研修活動の実施	(参加状況・研修内容: 一般研修 9名(H28 11名) [「月布川の上流から下流まで観察しよう」] 小3年研修 15名(H28 11名) [「明かりをつけよう」「じしゃくにつけよう」] 小4年研修 13名(H28 14名) [「水のすがたと温度」「物のあたまり方」] 小5・6年合同研修 17名(H28 16名) [「電流がうみ出す力」「ふりこのきまり」 「大地のつくり 変わり続ける大地」] 中学校研修 3名(H28 3名) [「おもしろアイデア実験器具作り」])
(3) 調査研究	(指導案・小中理科大会要項等の情報収集等)
(4) 備品器具の貸し出し	(理科センター備品・教材貸出)
(5) 所報の発行	(3月発行 第53号)

## 5. 事業の評価

(1) 小学校では、今後の授業づくりに生かすことができる教材や、理科の楽しさや面白さを、子どもたちに感じさせることができる観察・実験に関する研修が、中学校では、アイデアあふれる実験器具づくりの研修が行われた。参加者からは、今後の授業や教材研究に役立ったという感想が多数寄せられた。また、自分で教材を作ってみてわかることが多く、提案する側にとっても有意義な研修になったという感想も見られた。
(2) 授業の前の時期に研修を行うことで、参加者が学んだことを各学校に還元し、理科の授業改善が図られている。
(3) 自然の事物・現象に進んでかかわり、実感を伴った理解を図りながら、子どもたちに科学的な見方や考え方を養っていくうえで、理科教育センターが担う役割や今後の期待はますます大きなものとなっている。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	知的好奇心や探究心をもって、自然に親しみ、目的意識をもった観察・実験を行う児童生徒を多く育てていくため、また、「観察・実験の結果などを整理・分析したうえで、解釈・考察し、説明すること」などの資質・能力の育成を目指し、今後も、各学校における理科の探究的な授業改善につながる各種研修等を企画・実施していく。 (H30予算 159千円)

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	英語力育成事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進		1 教育総務費
	外国語(英語)学習や国際理解教育の推進		3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	3名のALTを各中学校区に配置し、市内小学校の外国語活動や中学校の外国語の学習を充実させるとともに、小中連携による系統的な学習を推進し、児童生徒に英語力を身に付けさせる。
事業内容	(1) 児童生徒の生きた英語学習や国際理解教育の充実を図る。 (2) これからのグローバル化社会を生き抜くために必要な、国際共通語としての英語力を児童生徒に身に付けさせる。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,597	補正額等		合計	2,597	決算額	2,250
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

(1) ALT3名を市内13の小中学校に学期ごと計画を立てて派遣し、小学校の外国語活動・中学校の外国語学習への支援を行った。	
① ALT派遣回数(のべ回数)	・小学校 1学期100回、2学期114回、3学期 83回、計297回 (H28 1学期134回、2学期170回、3学期 90回、計394回) ・中学校 1学期 85回、2学期 89回、3学期 47回、計 221回 (H28 1学期 26回、2学期 25回、3学期 42回、計 93回)
② 派遣方法	・小学校 曜日ごとに学校を固定して派遣 ・中学校 毎月平均して、陵東中:6日間、陵南中:8日間、陵西中:5日間の派遣

## 5. 事業の評価

(1) 28年度から、3名のALTを市内13小中学校に、学期ごとの派遣計画に基づいて派遣した。小学校においては、曜日毎に学校を固定し、中学校では、学習内容に応じて希望した日にALTを派遣した。ALTとの授業を通して、ネイティブによる音声に触れる機会を確保することができた。	
(2) 小学校の外国語活動や中学校の外国語の支援のほか、中学校の英語弁論大会に向けた指導を計18回行った。指導を受けた生徒の英語力の向上が見られ、全国大会に出場する生徒も出てきた。	
(3) 市内のALT3名に市外のALT3名を加えた計6名が講師となり、1日英語だけで過ごす「English Day」事業を8月に実施した。参加した小中学生15名は、風船割りゲームやダンス、ホットドッグ作りなどの活動を通して、英語力を磨くことができた。	

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 今年度からの次期学習指導要領の移行措置に対応した外国語・外国語学習を各小学校で展開し、児童に英語力を身につけていくために、ALTに加えAETを新規に派遣し、外国語・外国語活動の授業を支援していく。 (2) 今後は、小学校における外国語教科の実施や外国語活動の早期化を見据え、小中が連携した本市の英語教育をさらに推進していくために、英語教育推進会議を開催していく。 (3) 今年度から実施した、希望者を募って英語だけで過ごす「English Day」事業を継続して実施する。募集人数も拡大し、多くの児童生徒が参加できるよう、講師も増員して対応する。英語にどっぷりと浸る中で様々な活動を行うことを通して、英語に対する興味・関心を高めさせる。 (H30予算 7,792千円)

※・ALT＝外国語指導助手(外国人)    ・AET＝外国語指導支援員(日本人)

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育相談事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 教育相談機能の充実	項	1 教育総務費
		目	3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	不登校をはじめとする学校や保護者からの教育相談に対応するとともに、不登校児童生徒の学校への復帰を図る。
事業内容	(1)教育相談室に教育相談員3名を配置し、学校教育や家庭生活全般にわたる相談に対応するとともに、不登校の原因把握に努める。 (2)不登校児童生徒の学校復帰のための適応指導教室「寒陵スクール」を開設する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,312	補正額等		合計	4,312	決算額	3,684
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

(1) 教育相談室の概要
① 相談員の配置：教育相談員3名(うち、訪問相談員2名)
② 相談の件数： ○学 校 来室相談 104件、電話相談 399件、学校訪問 62件 ○保護者 来室相談 316件、電話相談 441件、家庭訪問 50件
(2) 寒陵スクールの概要(教育相談員が運営)
① 在籍児童生徒：計17名(小学生2名、中学生15名)
② 開設日数：210日(勤労青少年ホーム：193日 市立図書館：17日)
③ その他：長期休業中の学習(2日)、体験活動(遠足・調理実習・クリスマスリース作り)、個人面談、保護者懇談会を実施

## 5. 事業の評価

(1)平成29年度の不登校による年間30日以上欠席者 小学生5名(前年度2名)、中学生46名(前年度43名)
(2)寒陵スクール在籍児童生徒進路状況 中3(3名)は、志望する県立中学や県立高校、私立高校に進学した。
(3)寒陵スクールから学校への復帰者 2名(中学生)
(4)寒陵スクール・訪問相談では、心に寄り添った相談を通して、本人や保護者の心の安定を図ることができた。学校・保護者・相談員が情報を共有することで、児童の学校出席につながっていくケースもみられた。

## 6. 今後の対応等

方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)寒陵スクールが、保護者や児童生徒の心の拠り所となるよう、個々の悩みに寄り添っていく。その中で、学校への登校を促すことや、寒陵スクールで自分の生き方を見つめ直すなど、自立を促す取り組みをさらに進めていく。 (2)各学校の生徒指導担当者や教育相談担当者、特別支援教育コーディネーター、福祉部局や外部の専門機関との連携していく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学習補助員配置事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育成 1 学びの充実と確かな学力の育成 学ぶ力を高める教育の推進 2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 特別支援教育の充実	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	個別の支援が必要な児童生徒に対して学習・生活支援を行い、教育活動の充実を図る。
事業内容	(1) 通常学級における個別の指導が必要な児童生徒に対する学習・生活支援 (2) 特別支援学級における特別な配慮が必要な児童生徒等に対する学習・生活支援

## 3. 予算額・決算額

(単位: 千円 千円未満切上げ)

当初予算額	19,453	補正額等		合計	19,453	決算額	18,451
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

## 4. 事業の実施状況

(1) 配置校	寒河江小(3名)、寒河江中部小(2名)、南部小(1名)、西根小(1名)、柴橋小(2名)、高松小(1名)、醍醐小(1名)、白岩小(1名)、三泉小(1名)、陵東中(1名)、陵南中(2名)、陵西中(1名) 計 12校 (19名)
(2) 業務内容	学級担任を補助し、個別支援が必要な児童生徒への学習・生活上の支援を行う。 ① 通常学級における、個別の支援が必要な児童生徒への支援 ② 特別支援学級における、障がいの程度や多人数等、状況に応じた支援
(3) 勤務体制	年間200日程度(授業日)、学校の実情等に応じて4~6時間の勤務

## 5. 事業の評価

(1) 学校から出された配置申請や、国や県の加配、学級編制の状況を考慮しながら、それぞれの学校が抱える課題に適切に対応できるように補助員を配置した。(平成28年度: 19名・18,976時間、平成29年度: 19名・19,260時間)
(2) 各学校において、特別支援学級の児童生徒への学習支援や、通常学級で特別な支援を必要とする児童生徒への学習・生活支援、取り出しによる学習支援など、それぞれの実情に応じて効果的に活用でき、個々の学びを保証することができた。
(3) 各学校では探究型学習を通して、児童生徒に主体的に課題を解決する力を育成している。授業の中で、補助員が、児童生徒のつぶやきや気づきを拾い上げるなど、教員の補助をしながら学力向上につなげる活用も行われてきている。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	来年度は、教員と協力しながら個に応じたよりきめ細やかな学習支援を行い、特別に支援が必要な児童の支援だけでなく、全体の児童生徒の学習支援を行うことで、学力の向上を図っていく。名称も、「学力向上支援員」とし、子どもたちの確かな学び・学力向上のために支援員を配置するということを明確にする。 (H30予算 20,683千円)

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	障害児通学支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興 計画	<b>【基本方針2】</b> 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 特別支援教育の充実	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	障がいにより自力通学が困難で、かつ保護者による送迎も困難な特別支援学級児童生徒の学習参加の利便向上と保護者の負担軽減を図る。
事業内容	登校時または下校時のタクシー送迎を市内タクシー会社に委託し、通学支援を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,259	補正額等		合計	1,259	決算額	857
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-----

## 4. 事業の実施状況

(1) 実施	登校時または下校時のタクシー送迎による通学支援
(2) 利用状況	小学校 : 2校、4名、延べ 614回 中学校 : 2校、3名、延べ 281回 合計 : 4校、7名、延べ 895回

## 5. 事業の評価

家庭、学校及びタクシー会社が連携し、個々に応じた支援体制を整えたことで、障がいのある児童生徒の就学の適正化が図られ、保護者の負担軽減に繋がっているが、登下校往復での支援でないがゆえに、保護者の都合がつかない場合は対象児童生徒がひとりで登下校する場合がある。
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	引き続き、登下校往復での支援が出来る予算を要求していく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	小中学校ICT活用支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興 計画	<b>【基本方針2】</b> 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進 ICTを活用した情報教育の推進	予算科目	10 教育費
		項	1 教育総務費
		目	3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	ICT活用支援員が小中学校を巡回してパソコン等ICTを活用した教育活動について支援を行い、小中学校のICT活用に係る教育を推進する。
事業内容	小中学校におけるICTを活用した授業及び校務処理を円滑に進めるため、ICT活用支援員が小中学校を巡回して児童生徒及び教職員に対する支援活動を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	633	補正額等		合計	633	決算額	632
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

## 4. 事業の実施状況

ICT活用支援員1名が、延べ32日小中学校を巡回して児童生徒及び教職員に対する支援活動を行った。
--

## 5. 事業の評価

平成25年度に緊急雇用創出事業でICT支援員が配置されてから、機器のメンテナンスやソフト活用の技術的支援のために各小中学校を定期的に巡回してICT活用に伴う準備の負担軽減や技術指導を行ってきたことで、教職員のICTに関する知識や活用技術が向上してきている。
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	平成30年度は、学校におけるICT関連機器の不具合時に対応するための小中学校情報機器保守点検について委託を行うが、ICT活用支援員の設置についても学校の意見を聞きながら、必要があれば平成31年度以降に予算要求を行っていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	就学援助事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 1 信頼される教育の推進 信頼される教育環境づくり	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	要保護・準要保護児童及び特別支援学級児童の保護者に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該児童の就学機会の確保を図る。
事業内容	学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費及び医療費等を支給し、就学を援助する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	9,884	補正額等	812	合計	10,696	決算額	8,236
-------	-------	------	-----	----	--------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

(1) 要保護・準要保護児童就学援助費の支給	対象児童 : 187名 このうち入学準備金対象者 8名	金額 7,589,605円 H28 172名 10,038,949円 H28は入学準備金はなし
(2) 特別支援教育就学奨励費の支給	対象児童 : 31名	金額 646,302円 H28 37名 1,221,747円
他市町村支給状況(寒河江市では支給なし)		
体育実技用具費	山形市・米沢市・鶴岡市・酒田市・新庄市・天童市・南陽市・山辺町・舟形町・真室川町・鮭川村・高島町・川西町・白鷹町・飯豊町	
通学費	酒田市・新庄市・上山市	
クラブ活動費	南陽市・朝日町・庄内町	
生徒会費	村山市・尾花沢市・南陽市・中山町・朝日町・川西町・庄内町	
PTA 会費	村山市・尾花沢市・中山町・朝日町・大江町・高島町・川西町・庄内町	

## 5. 事業の評価

要保護児童に係る「新入学学用品費等」について、国で援助対象を就学予定者にまで拡大したことから、寒河江市においても、就学予定者である準要保護児童に係る「新入学学用品費等」の援助を開始した。(平成30年3月支給)
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	国では援助費における体育実技用具費(スキー・スケート靴 等)、通学費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、家庭学習費(参考書購入費 等)の導入を奨励しているが、現在、寒河江市においては導入していないため、援助費内容の拡大を検討していく。特に、県内市町村では導入されていない家庭学習費について、学力向上のためにも検討を進めていく。

# 事務事業点検・評価調査

## 1. 事業名等

事業名	就学援助事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計画)	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 1 信頼される教育の推進 信頼される教育環境づくり	予算科目	10 教育費
		項	3 中学校費
		目	3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	要保護・準要保護生徒及び特別支援学級生徒の保護者に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該生徒の就学機会の確保を図る。
事業内容	学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費及び医療費等を支給し、就学を援助する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	14,228	補正額等	1,612	合計	15,840	決算額	13,429
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

## 4. 事業の実施状況

(1) 要保護・準要保護児童就学援助費の支給	対象児童 : 144名	金額 12,752,701円	H28 120名 10,984,995円
	このうち入学準備金対象者 27名	1,279,800円	H28は入学準備金はなし
(2) 特別支援教育就学奨励費の支給	対象児童 : 14名	金額 675,686円	H28 13名 514,387円
他市町村支給状況(寒河江市では支給なし)			
体育実技用具費	山形市・米沢市・鶴岡市・酒田市・新庄市・天童市・長井市・南陽市・山辺町・真室川町・高畠町・川西町・白鷹町・飯豊町		
通学費	酒田市・新庄市・上山市・三川町		
クラブ活動費	村山市・尾花沢市・南陽市・中山町・朝日町・高畠町・川西町・庄内町		
生徒会費	村山市・尾花沢市・南陽市・中山町・朝日町・川西町・庄内町		
PTA会費	村山市・尾花沢市・中山町・朝日町・大江町・高畠町・川西町・庄内町		

## 5. 事業の評価

要保護児童に係る「新入学学用品費等」について、国で援助対象を就学予定者にまで拡大したことから、寒河江市においても、就学予定者である準要保護児童に係る「新入学学用品費等」の援助を開始した。(平成30年3月支給)
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	国では援助費における体育実技用具費(スキー・柔道・剣道用具等)、通学費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、家庭学習費(参考書購入費等)の導入を奨励しているが、現在、寒河江市においては導入していないため、援助費内容の拡大を検討していく。特に、県内市町村では導入されていない家庭学習費について、学力向上のためにも検討を進めていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校給食事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計画	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 4 食育の推進 豊かな心と命を育む食育の推進 地産地消の推進	予算科目	10 教育費 2 小学校費 2 学校保健費

## 2. 事業の概要

事業目的	学校給食を実施することにより、児童の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う。
事業内容	全小学校において自校調理方式による完全給食を実施する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	108,012	補正額等	1,645	合計	109,657	決算額	101,642
-------	---------	------	-------	----	---------	-----	---------

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)「さがえ食育の日」に合わせ、給食を生きた教材として各学校で食育指導を行い、食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育てた。</p> <p>(2)「郷土料理・特産物を味わおう」という給食目標を掲げて献立を作成し、食文化や伝統的な郷土料理の継承に努めた。</p> <p>(3)米や野菜の栽培・収穫活動など体験を通じた食育を推進し、食べ物の大切さや生産者への感謝の気持ちを育てた。</p> <p>(4)給食日より等で地場農産物を使用した給食を紹介したり、給食レシピを保護者や地域の方に配布したりして、地場農産物の積極的な利用を働きかけた。</p> <p>(5)各種会議・研修会の開催 献立作成会議、調理師研修会(市内・市外)、給食主任会、調理師・給食主任合同研修会の開催</p> <p>(6)放射性物質検査の実施</p> <p>(7)寒河江産農産物を使用したカット冷凍野菜の利用(かぼちゃ)</p> <p>(8)地方創生交付金を使った食育事業を実施</p> <p>(9)小学校給食費の助成を開始</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>①地方創生交付金を使った食育事業を展開。 寒河江の伝統野菜(子ひめ芋・もって菊・谷沢梅)を使った給食レシピコンテストを実施。市内小学生からレシピを募集して、副市長や教育長が最優秀3品を選び、その3品を使った献立を市内全小学校にて提供。同日、柴橋小学校において、コンテスト表彰式と市長、生産者等を招いた合同給食会を行った。また、選ばれた11品を掲載した「寒河江の伝統野菜を使った給食レシピ集」を作成して、市内全小学生やハートフルセンター、アグリランド産直センター等に配布した。</p> <p>②平成29年度から給食費助成を開始。(給食費1食280円。28年度までは260円。)</p> <p>(1)小学校給食費の半額を助成 小学校給食費単価を見直し給食内容を充実させ、保護者が負担する給食費の半額を助成。</p> <p>(2)小学校の第3子以降の給食費は全額助成 対象範囲を高校3年生までとして、小学校に在籍する児童が第3子以降に該当する場合は、その対象児童の給食費を全額助成。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	平成29年度から開始した給食費助成を継続する。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校給食事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計 画	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 4 食育の推進 豊かな心と命を育む食育の推進 地産地消の推進	予算科目	10 教育費
			3 中学校費
			2 学校保健費

## 2. 事業の概要

事業目的	中学校給食を実施することにより、成長期にある中学生に安全安心で栄養バランスのとれたおいしい食事を提供し心身の健全な発達に資するとともに、それを生きた教材として活用し食育の充実を図る。
事業内容	全中学校において民設民営による給食センター方式で完全給食を実施する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	189,224	51	合計	189,275	決算額	188,257
-------	---------	----	----	---------	-----	---------

## 4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「さがえ食育の日」に合わせ、給食を生きた教材として各学校で食育指導を行い、食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育てた。</li> <li>(2) 「郷土料理・特産物を味わおう」という給食目標を掲げて献立を作成し、食文化や伝統的な郷土料理の継承に努めた。</li> <li>(3) 生産者との交流給食を実施し、生産者と生徒との結び付きを強めた。</li> <li>(4) 給食日より等で地場農産物を使用した給食を紹介したり、給食レシピを保護者や地域の方に配布するなど、地場農産物の積極的な利用を働きかけた。</li> <li>(5) より多くの寒河江産農産物を使用した「さがえのごっつお給食」を、9月から12月までに計20回実施した。</li> <li>(6) 各種会議・研修会の開催 献立作成会議、調理師研修会(市内・市外)、給食主任会、調理師・給食主任合同研修会の開催</li> <li>(7) 放射性物質検査の実施</li> <li>(8) 寒河江産農産物を使用したカット冷凍野菜の利用(かぼちゃ)</li> <li>(9) 中学校給食費の助成を開始</li> </ul>
--

## 5. 事業の評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成29年度中学校給食における地産地消の割合は、県産率 51.1% (H28 55.6%)、寒河江産率 40.1% (H28 43.8%)ともに昨年度と比較して減少しているが、これは、天候不順により価格が高騰した野菜(ブロッコリーやカリフラワー等)の使用を安いレトルト野菜に切り替えたことや、献立を変更して野菜以外の食材を使用などが理由として考えられる。</li> <li>(2) 平成29年度から給食費助成を開始。(給食費1食310円。28年度までは295円。)</li> <li>① 中学校給食内容を充実させるが、充実させた分(1食15円)は市が負担することで、保護者の経済的負担は増えないようにする。</li> </ul>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	平成29年度から開始した給食費助成を継続する。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	市史編纂事業	所管課・係	生涯学習課	
施策体系	<b>【基本方針4】</b> ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う 2 郷土の歴史と文化を大切に活動の推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護	慈恩寺歴史文化振興室 歴史文化係		
教育振興計画		予算科目	款	10 教育費
		項	4 社会教育費	
		目	8 市史編纂費	

## 2. 事業の概要

事業目的	歴史資料の収集、調査を行い、寒河江市の歴史と文化を後世に伝えていく。
事業内容	(1)市史編纂専門員3名の配置 (2)郷土資料の収集、解読、研究 (3)市史等の原稿執筆・編集・発刊

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	7,084	補正額等		合計	7,084	決算額	6,532
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

(1)市史編纂委員会を開催して、市史別編の編集・発刊等について協議した。 (2)寒河江市史編纂叢書第87集「日田村関係資料」を発刊した。 (3)市史別編「環境・考古編」の原稿執筆を行った。 (4)市史編纂事業の周知と資料収集の広報を兼ねて、市報5日号「生涯学習のまど」内に「市史編さんだより」を掲載した。
---

## 5. 事業の評価

(1)市内の歴史資料の調査と貴重資料の受入、市史編纂叢書の発刊により、史料散逸・消失への対処に繋がった。 (2)市史編纂叢書と「環境・考古編」の編集により、資料に基づいた本市の歴史編纂に資した。 (3)編纂叢書の発刊、「市史編さんだより」の市報掲載、その他市民からの歴史に関する相談に対応し、ふるさとの歴史の啓発・普及に努めた。
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)市史編纂委員会において策定した、市史編纂事業計画に基づいて発刊事業を進める。平成30年度は、市史別編「環境・考古編」、市史資料編「市史年表」の発刊となる。また、市史編纂叢書は第88集を発刊する。 (2)市史編纂専門員体制を維持し、歴史文化活動推進員の協力の下、郷土資料の散逸・消失を防ぎ調査研究と普及を行う。 (H30予算 10,946千円)

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	文化財保存活用事業	所管課・係	生涯学習課	
			慈恩寺歴史文化振興室 歴史文化係	
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする心を養う	予算科目	款	10 教育費
教育振興計 画	2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進		項	4 社会教育費
	民俗芸能や伝統行事の保護と伝承		目	9 歴史文化費

## 2. 事業の概要

事業目的	(1)県指定天然記念物種蒔ザクラを活用し、まちづくり及び観光振興を図る。 (2)文化財等をデジタル化して、保存活用及び伝承活動を推進する。
事業内容	(1)種蒔ザクラのビュースポット及び駐車場の環境整備 (2)民俗芸能活動のデジタル映像化

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,327	補正額等		合計	1,327	決算額	1,151
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)種蒔ザクラの駐車場等環境整備に必要である、私有地の建造物の移転料等損失補償の参考とするための調査を委託した。また、必要な土地を取得するための鑑定評価についても依頼した。</p> <p>(2)市指定無形民俗文化財の内、3団体の活動を撮影収録しデジタル映像化した。</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)種蒔ザクラを観光に訪れる観光客等の利便性を向上し地域活性化を図る駐車場等の環境整備事業を進めるため、建造物の調査と土地の鑑定評価を実施した。</p> <p>(2)無形民俗文化財の収録は屋内のみだったので、屋外の活動も収録し、地元の祭礼の様子もわかるようにする。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)平成30年度は駐車場等予定地の整地済の土地を購入し、平成31年度に白岩の幟旗設置を含めた駐車場等を整備し、観光振興と地域活性化を図る。</p> <p>(2)平成30年度は残りの団体の活動を撮影収録し、後世に引き継いでいくため民俗芸能活動団体の伝承活動を支援していく。</p> <p style="text-align: right;">(H30予算 11,042千円)</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	埋蔵文化財調査事業	所管課・係	生涯学習課 慈恩寺歴史文化振興室 歴史文化係	
施策体系 教育振興計 画	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする心を養う	予算科目	款	10 教育費
	2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進		項	4 社会教育費
	ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護 史跡「慈恩寺旧境内」の保存と活用		目	9 歴史文化費

## 2. 事業の概要

事業目的	埋蔵文化財の調査・保存を図るとともに、歴史と文化を尊び文化財に対する市民の意識の高揚を図る。
事業内容	(1)文化財保護法に基づき市内遺跡の調査を行い、報告書を作成する。 (2)埋蔵文化財フェアの開催

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,256	補正額等		合計	2,256	決算額	2,225
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)発掘調査</p> <p>①史跡追加指定に向けて、上の寺遺跡を調査した。</p> <p>②市内遺跡の問合せに対応し、調査が必要な場所(寒河江城跡)については試掘調査を実施した。</p> <p>(2)慈恩寺調査検討委員会 委員会を2回開催し、史跡の追加指定に向けて、上の寺遺跡の発掘調査の進め方の検討や調査状況を報告した。</p> <p>(3)埋蔵文化財フェア 「縄文時代の水辺とくらし」 7月27日～8月8日 市美術館 246名 講演会 8月5日 県立うきたむ風土記の丘考古資料館長 渋谷孝雄氏 30名(H28 47名)</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1)上の寺遺跡の中核部にあたる「伝・聞持院跡」隣接地の確認調査を行い、追加指定に向け、新たな資料を得た。また、開発工事に対応した調査・立会を行い、市内遺跡の保護を図ることができた。(国庫補助事業)</p> <p>(2)考古学・歴史学を学ぶ場として、また文化財の価値を市民に周知していくためにも埋蔵文化財フェアを継続していきたいが、実施場所の美術館内は湿度が低く展示環境が悪いため、開催場所や内容等を検討する。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)慈恩寺文化の解明と史跡追加指定のため、国や県の指導を受けながら、慈恩寺調査検討委員会で協議し、計画的に発掘調査を行っていく。</p> <p>(2)市内遺跡における工事に随時対応する。</p> <p>(3)遺跡の価値について、市民に広く周知していく。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	郷土館保存事業	所管課・係	生涯学習課	
施策体系	<b>【基本方針4】</b> ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う 2 郷土の歴史と文化を大切に活動の推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護	慈恩寺歴史文化振興室	歴史文化係	
教育振興計画		予算科目	10	教育費
		項	4	社会教育費
		目	9	歴史文化費

## 2. 事業の概要

事業目的	(1)県指定有形文化財である、旧西村山郡役所・旧西村山郡会議事堂の保存を図る。 (2)郷土の歴史資料展示施設として、市民の郷土学習活用を図り、歴史と文化を後世に伝える。
事業内容	(1)郷土館の維持管理 (2)郡制時代をテーマに資料館として一般開放 (3)郷土館特別展の開催

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,332	補正額等	△ 16	合計	2,316	決算額	2,121
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

(1)県指定有形文化財である建物の維持管理 施設維持管理等業務委託(10件) 1,587,329円 (2)郷土館一般公開 入館者数1,735人(平成28年度:1,531人) 4月8日～11月12日の土・日・祝日(4月15日～5月31日桜まつり・つつじまつり期間、7月29日～8月13日夏休み特別開館) 郷土学習対応 6月14日三泉小 6月22日高松小 7月31日しばは子どもクラブ 9月21日寒河江中部小 9月29日柴橋小 10月5日醍醐小 10月10日南部小 (3)郷土館特別展の開催「三つの代官所があったまち寒河江」 9月22日～10月15日 入館者292名 記念講演 講師:市史編纂専門員宇井啓氏 参加者:54名(H28 45名) (4)郷土館入口案内板改修、階段手摺設置 (5)郷土館運営協議会の開催 10月27日 郷土館 4名 H28事業報告・H29事業計画等 (6)配置換え 旧西村山郡役所の産業コーナーの一部の配置を変えた。
--

## 5. 事業の評価

(1)施設維持管理等の業務委託や、階段手摺の設置、案内看板の改修により、施設の維持管理と入館者への配慮に努めた。 (2)郷土館特別展では、1つの市域に3つの代官所があったという、全国的にも類例がない本市の特色を知る機会となり、市民の歴史・文化に対する理解を深め郷土史学習に資するものとなった。 (3)市民や特に小学校の郷土学習に活用されたほか、4月5日には桜・つつじまつり目的の方が来館され、観光にも資した。
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)県指定有形文化財である建物を適正に保存していく。 (2)特別展等の開催や大規模な展示替えを行い、郷土を学ぶ環境づくりに努める。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	史跡慈恩寺旧境内総合調査事業	所管課・係	生涯学習課	
施策体系 〔教育振興計画〕	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う 2 郷土の歴史と文化を大切にすることを推進 史跡「慈恩寺旧境内」の保存と活用	予算科目	款	10 教育費
			項	4 社会教育費
			目	9 歴史文化費

## 2. 事業の概要

事業目的	(1)史跡の保存と活用の整備のための整備基本計画を策定する。 (2)慈恩寺文化の研究と、市民への周知を図り、地域の活性化を図る。
事業内容	(1)史跡慈恩寺旧境内整備検討委員会を開催し、史跡慈恩寺旧境内整備基本計画を策定する。 (2) 慈恩寺講演会の開催等、国史跡「慈恩寺旧境内」の広報・普及に努める。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,327	補正額等		合計	4,327	決算額	3,750
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)史跡慈恩寺旧境内整備基本計画策定 史跡慈恩寺旧境内整備検討委員会を6回、オブザーバー指導会議を1回開催した。基本計画策定に当たり調査を委託した。また、2月に地元説明会を開催した。</p> <p>(2)国史跡「慈恩寺旧境内」広報・普及 ①慈恩寺講演会「史跡等の整備について」文化庁記念物課文化財調査官／中井将胤氏 6月22日 文化センター 参加者約70名 (H28 80名) 史跡慈恩寺旧境内を保存・活用していくための整備のあり方について、市民の理解を深めるための講演会を開催した。 ②慈恩寺修験の道ウォーキングの開催 10月21日／20名 28日／12名 (H28 計37名) 史跡内の、慈恩寺修験の一の宿から三の宿を、説明を聞きながら歩いた。 ③総合広報誌「慈恩寺Times」の発刊 年4回、醍醐地区は全戸配布その他の地区は回覧にして、史跡についての情報を発信した。 ④「慈恩寺歴史文化振興室コーナー」の掲載 市報5日号「生涯学習のまど」にコーナーを設けて、慈恩寺に関する情報を掲載した。</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1)史跡慈恩寺旧境内整備検討委員会を開催し、整備基本計画を策定した。(国庫補助事業) (2)慈恩寺講演会は、日程調整上さくらんぼの時期となり、初めて平日の夜の開催となったが、前年並みの参加者があった。 (3)修験の道ウォーキングの開催や慈恩寺Timesの発行など、広報・普及させる事業を行い、市民の史跡理解の促進に資するものとなった。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	<p>(1)平成30年度から、事業名を「史跡慈恩寺旧境内整備事業」とした。 また、市長部局に「慈恩寺振興課」を設置して、史跡の整備に関するを引き継いだ。 (2)慈恩寺振興課と連携し、史跡の保存・活用に努める。</p>

# 事務事業点検・評価調査

## 1. 事業名等

事業名	教育委員会事務局管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費
教育振興計画	4 開かれた教育行政の推進  信頼に応える教育行政の推進 教育情報の公開と共有化の推進		

## 2. 事業の概要

事業目的	教育委員会事務局(学校教育課)の総務一般に関する事務を処理する。
事業内容	(1) 教育委員会規則等の制定及び改廃に関する事務 (2) 教育功労、叙勲等に関する事務 (3) 教育委員会の事務事業の点検・評価に関する事務 (4) 学校基本調査等各種調査に関する事務 (5) その他学校教育課内の庶務に関する事務

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,128	補正額等	△ 7	合計	3,121	決算額	2,599
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 教育委員会規則等の制定及び改廃については、総務課法制担当と協議しながら調整し、教育委員会の議決を経て公布した。 ・規則及び規程の制定又は改正 3件(H28 5件)</p> <p>(2) 教育功労、叙位叙勲に関する処理実績 ・高齢者叙勲 2件(H28 同) ・死亡叙位 1件(H28 同)</p> <p>(3) 教育委員会が執行した事務事業(平成28年度分)の点検・評価を実施し、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、市ホームページ等において公表した。</p> <p>(4) 学校基本調査、地方教育費調査、学校施設台帳作成等各種調査事務を執行した。</p> <p>(5) 市教職員感謝状贈呈として、平成30年度末で市内小中学校を最終勤務地として退職した教職員20名に対し、市長より感謝状を贈呈した。</p> <p>(6) 寒河江市総合教育会議の開催 ※平成29年度は2回開催(H28 2回)</p> <p>【議題】 ○第1回:・①ICTを活用した情報教育の推進について・②生涯スポーツの状況について ○第2回:・①これからの寒河江市の学校のあり方について・②学力向上について</p> <p>(7) 教育委員視察研修 ・給食センター視察</p> <p>(8) 教育総務事務の中で建築技師が不在になったことから施設管理等に関する助言を得るための業務委託を行った。</p> <p>(9) 市総務課が一括管理する公用車とは別に、突発的な公用車利用等に対応するため学校教育課専用として公用車1台の借上げを行った。</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1) 教育事務の点検・評価については、外部評価委員の意見に対する各事業の対応状況について経過確認を行うことにより、点検評価に対する事業の検証が図られた。</p> <p>(2) 総合教育会議を2回開催し、本市の現状や教育課題、あるべき姿について考慮した議題の設定に努め、市長と教育委員会が認識を共有し、十分な意思疎通が図られるよう努めた。また、議題については会議の回を重ねるごとにテーマ設定が難しくなっている。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 平成29年度に3回開催した寒河江市立学校の今後のあり方に関する懇談会では、今後の学校のあり方について様々なご意見をいただいたが、これらの意見をまとめ、内容を整理し、更に本市の学校のあり方についての基本的な考えを策定するため、検討委員会を立ち上げ、検討を進めていく。 (2) 教育事務の点検・評価については、今後の事業展開や次年度の予算要求等に活かせるような記載内容となるよう努めていく必要がある。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	小学校管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系 教育振興 計画	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	予 算 科 目	10 教育費
	2 安全安心で充実した教育環境の整備 安全管理の徹底	項	2 小学校費
		目	1 学校管理費

## 2. 事業の概要

事業目的	小学校児童の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、小学校施設・設備の整備を行う。
事業内容	小学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	186,440	補正額等	5,589	合計	192,029	決算額	188,338
-------	---------	------	-------	----	---------	-----	---------

## 4. 事業の実施状況

(1) 保守点検、施設管理業務委託等 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 警備保障業務、消防用設備保守点検業務、ボイラー清掃管理業務、FF暖房機点検清掃業務、ガス機器等点検業務、各小学校樹木剪定等 67件(H28 68件)</li> <li>② 印刷機賃貸借 外</li> </ul>
(2) 修繕 <ul style="list-style-type: none"> <li>幸生小厨房壁修繕、寒河江小受水槽調整弁修繕、西根小屋根雨漏修繕、中部小2F男子トイレ小便器修繕等 122件(H28 120件)</li> </ul>
(3) 施設整備工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>西根小暖房用ボイラー及び煙突更新工事、高松小屋根改修工事、小学校中高学年女子トイレ洋式便器増設工事、小学校FF暖房機更新等工事、南部小昇降口庇防水修繕工事等 39件 (H28 59件)</li> </ul>
(4) 備品整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>児童用椅子、事務用椅子 業務用掃除機 外</li> </ul>

## 5. 事業の評価

<p>(1) トイレ洋式化の推進について、小学校中学年高学年女子トイレ17カ所の洋式便器を増設し、利用しやすいトイレ環境の整備に努めた。 また、学校によっては洋式化に伴いトイレブースの面積が大きくなることにより便器数が減る学校もあり、今後の洋式化推進の検討については総合的に検討する必要がある。</p> <p>(2) ボイラー暖房の学校において、ボイラー管理委託契約の更新に伴い、4月の気温が低い日にボイラー稼働ができるように4月分の管理を追加し、適切な学習環境の確保に努めた。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) トイレ洋式化について、平成30年度は国からの衛生管理面での改善指導としてあった給食室トイレの洋式化を未整備8校において進める。</p> <p>(2) 施設老朽化に伴う施設整備、修繕等の要望が多くなっており、安全面を最優先にししながら優先順位を見極め、更に適切な対応について慎重に検討を進めていく。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	中学校管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系 〔教育振興計〕	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 2 安全安心で充実した教育環境の整備 安全管理の徹底	予算科目	10 教育費
		款	3 中学校費
		項	1 学校管理費

## 2. 事業の概要

事業目的	中学校生徒の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、中学校施設・設備の整備を行う。
事業内容	中学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	140,186	補正額等	1,264	合計	141,450	決算額	137,259
-------	---------	------	-------	----	---------	-----	---------

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 保守点検、施設管理業務委託等</p> <p>① 警備保障業務、消防用設備保守点検業務、ボイラー清掃管理業務、貯水槽清掃点検業務、陵東中屋内運動場床調整業務、陵西中トイレ尿石除去及び高圧洗浄業務、各中学校樹木剪定等 39件 (H28 39件)</p> <p>② 印刷機賃貸借 外</p> <p>(2) 修繕</p> <p>陵東中プール棟窓修繕、陵南中西側防球ネット修繕、陵西中電動防火シャッター修理、等 60件(H28 66件)</p> <p>(3) 施設整備工事</p> <p>中学校3年教室等空調設備整備工事、陵東中・陵南中暖房用ボイラー煙突更新工事、中学校プールろ過装置等修繕工事 陵東中体育館2階更衣室パネル修繕等工事 等 38件(H28 29件)</p> <p>(4) 備品整備</p> <p>生徒用椅子類、陵西中会議用長机 外</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1) 中学校3年教室特別支援教室等にエアコンを整備し、適切な学習環境の確保が図られた。</p> <p>(2) ボイラー暖房において、ボイラー管理委託契約の更新に伴い、4月の気温が低い日にボイラー稼働ができるように4月分の管理を追加する等、適切な学習環境の確保に努めた。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 平成29年度に陵東中学校体育館床にたわみが確認され、調査を行い応急処置を行ったが、平成30年度においては同体育館の床全面の改修と、合わせて体育館トイレの洋式化を進め、安全面の迅速な対応と適時適切な整備を図っていく。</p> <p>(2) 施設老朽化に伴う施設整備、修繕等の要望が多くなっており、安全面を最優先にしながら優先順位を見極め、更に適切な対応について慎重に検討を進めていく。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校保健事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計画)	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 3 健やかな体を育む取組の推進 元気に遊ぶ子どもの育成	予算科目	10 教育費
		項	2 小学校費
		目	2 学校保健費

## 2. 事業の概要

事業目的	児童及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	児童及び教職員の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。 また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	18,203	補正額等		合計	18,203	決算額	17,307
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

## 4. 事業の実施状況

(1) 児童検診	
① 身体計測・内科・眼科・歯科各検診	2,181名 (H28 2,183人)      ④ 尿検査      2,181名 (H28 2,182人)
② 耳鼻科検診	1,620名 (H28 1,429人)      ⑤ 貧血検査      303名 (H28 336人)
③ 心電図検査	361名 (H28 329人)
(2) 教職員検診	
① 一般検診	162名 (90.0%)      H28 170名 (93.4%)
② 大腸がん(40歳以上希望)	111名 (94.9%)      H28 116名 (73.4%)
③ 胃がん(40歳以上)	109名 (77.8%)      H28 109名 (70.0%)
※ 受診人数後の()内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。	
(3) 環境衛生検査(飲料水、プール水、照度、ダニアレルギー)	
(4) 教職員ストレスチェックを実施(平成28年度から) 受診対象者182名中受診者146名 受診率80.2% H28 受診対象者181名中受診者164名 受診率90.6%	

## 5. 事業の評価

<p>教職員検診において、一般検診(H28・93.4%⇒H29・90.0%)とストレスチェック(H28・90.6%⇒H29・80.2%)の受診率が減少している。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	教職員の検診については、特にストレスチェック受診率の減少が目立っている。減少の要因としては、ストレスチェックが、各自、パソコンを使用して2週間のうちに検診を受けるという方法であるために忘れてしまう、学校長や養護教諭が声がけをしても実際に受診したのかを確認することが出来ないため等が考えられる。検診の重要性を周知し、学校長や養護教諭に協力していただきながら、受診率アップに努めていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校保健事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計画)	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 3 健やかな体を育む取組の推進 元気に遊ぶ子どもの育成	予算科目	10 教育費
			3 中学校費
			2 学校保健費

## 2. 事業の概要

事業目的	生徒及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	生徒及び教職員の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。 また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	8,440	補正額等	△1	合計	8,439	決算額	7,808
-------	-------	------	----	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

(1) 生徒検診	
①身体計測・内科・眼科・歯科各検診	1,181名 (H28 1,221名) ④尿検査 1,188名 (H28 1,222名)
②耳鼻科検診	606名 (H28 585名) ⑤貧血検査 1,046名 (H28 1,069名)
③心電図検査	359名 (H28 408名)
(2) 教職員検診	
①一般検診	84名 (95.5%) H28 88名 (94.6%)
②大腸がん(40歳以上希望)	47名 (87.0%) H28 54名 (80.6%)
③胃がん(40歳以上)	48名 (78.7%) H28 47名 (70.1%)
※ 受診人数後の()内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。	
(3) 環境衛生検査(飲料水、プール水、照度、ダニアレルギー)	
(4) 教職員ストレスチェックを実施(平成28年度から) 受診対象者90名中受診者44名 受診率48.9% H28 受診対象者92名中受診者67名 受診率72.8%	

## 5. 事業の評価

教職員検診において、ストレスチェック(H28・72.8%⇒H29・48.9%)の受診率が減少している。
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	教職員の検診については、特にストレスチェック受診率の減少が目立っている。減少の要因としては、ストレスチェックが、各自、パソコンを使用して2週間のうちに検診を受けるという方法であるために忘れてしまう、学校長や養護教諭が声がけをしても実際に受診したのかを確認することが出来ないため等が考えられる。検診の重要性を周知し、学校長や養護教諭に協力していただきながら、受診率アップに努めていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育振興事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計画)	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 1 信頼される教育の推進 信頼される教育環境づくり	予算科目	10 教育費
		項	2 小学校費
		目	3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、児童の適切な学習環境の整備を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	15,322	補正額等	248	合計	15,570	決算額	15,314
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

## 4. 事業の実施状況

(1) 学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。	
① 教材教具、図書等一般事業	13,595 千円
② 理科教育振興設備整備事業	1,719 千円

## 5. 事業の評価

(1) 学校からの要望が多い学習活動に必要な消耗品や図書については、限られた予算の中で整備を進めた。	
(2) 理科備品については、各学校から要望を出してもらい国庫補助制度を活用して整備を行ったことで、指導内容の充実に繋がった。	

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 学校からの要望が多い学習活動に必要な消耗品や図書については、限られた予算の中で整備を進めた。 (2) 理科備品については、各学校から要望を出してもらい国庫補助制度を活用して整備を行ったことで、指導内容の充実に繋がった。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育振興事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 〔教育振興計〕	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 1 信頼される教育の推進 信頼される教育環境づくり	予算科目	10 教育費
		項	3 中学校費
		目	3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、生徒の適切な学習環境の整備を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	11,934	補正額等		合計	11,934	決算額	11,801
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

## 4. 事業の実施状況

(1) 学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。	
① 教材教具、図書等一般事業	10,803 千円
② 理科教育振興設備整備事業	998 千円

## 5. 事業の評価

(1) 学校からの要望が多い学習活動に必要な消耗品や図書については、限られた予算の中で整備を進めた。	
(2) 理科備品については、各学校から要望を出してもらい国庫補助制度を活用して整備を行ったことで、指導内容の充実に繋がった。	

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	教材教具整備については出来る限り年度の早い時期に購入して、指導内容を充実させていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	情報教育推進事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興 計 画	<b>【基本方針2】</b> 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進 ICTを活用した情報教育の推進	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	情報機器やネットワーク機能の活用指導を通じて、情報化社会に対応できる人材の育成を図る。
事業内容	小学校における情報教育を円滑に行うことができるよう、パソコン機器や電子黒板機器の整備、充実を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	18,965	補正額等	137	合計	19,102	決算額	18,907
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

## 4. 事業の実施状況

小学校のパソコン機器及び電子黒板機器のリース契約を継続した。
--------------------------------

## 5. 事業の評価

パソコン機器や電子黒板機器が整備されたことで、情報教育の充実が図られた。
--------------------------------------

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	7小学校においてパソコン室のパソコンを更新するが、特別支援学級の児童も一緒に授業が出来るようにパソコン台数を増やす。(H25更新時から13台増加)

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	情報教育推進事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進 ICTを活用した情報教育の推進	予算科目	10 教育費 3 中学校費 3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	情報機器やネットワーク機能の活用指導を通じて、情報化社会に対応できる人材の育成を図る。
事業内容	中学校における情報教育を円滑に行うことができるよう、パソコン機器や電子黒板機器の整備、充実を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	12,511	補正額等		合計	12,511	決算額	11,939
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

## 4. 事業の実施状況

教職員の校務用パソコン機器が導入から6年以上が経過して不具合が生じてきているため、リース契約で整備を図った。
--

## 5. 事業の評価

パソコン機器や電子黒板機器が整備されたことで、情報教育の充実が図られた。
--------------------------------------

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	1中学校においてパソコン室のパソコンを更新。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	スクールバス運行事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興 計画	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 多様な学習環境づくり	予算科目	10 教育費
		項	1 教育総務費
		目	3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	遠距離通学を余儀なくされている幸生・田代地区の児童生徒の就学機会を確保する。
事業内容	スクールバスの運行業務を市内タクシー会社に委託し、幸生・田代地区の児童生徒の登下校時の送迎を行う。 また、しらいわ保育所に通所する幸生・田代地区の児童の送迎を行うとともに、小中学校の校外学習活動及び陵西中学校の部活動の交通手段にも活用する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	7,164	補正額等	4	合計	7,168	決算額	6,455
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

## 4. 事業の実施状況

(1) 利用者	： 陵西中学校 9名 (幸生地区 2名・田代地区 7名) 白岩小学校 5名 (田代地区 5名) しらいわ保育所 5名 (幸生地区 5名)
(2) 運行状況	： 陵西中学校・白岩小学校及びしらいわ保育所への送迎 (延べ473日) 自然の家での体験学習や公共施設の見学学習など校外活動等の利用 (延べ127日) 陵西中学校の部活動等での利用 (延べ 21日) ふるさと学習での利用 (延べ6日) 慈恩寺5日・老人ホーム1日

## 5. 事業の評価

ふるさと学習支援事業の移動手段としてスクールバスを活用しているが、徒歩での学習活動と比較すると、活動範囲が広がって、多様な学習が可能になった。
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	各小中学校からの利用の要望に可能な限り対応するとともに、事故のないよう運行業務委託業者に指導を行う。

---

---

平成 3 0 年 8 月

寒河江市教育委員会

	学 校 教 育 課	生 涯 学 習 課
所 在	〒991-8601 山形県寒河江市中央一丁目 9 番 45 号	〒991-0003 山形県寒河江市大字西根字石川西 333
T E L	0237-86-2111 (代表)	0237-86-5111
F A X	0237-86-8691	0237-86-2201
Email	kyouikuka@city.sagae.yamagata.jp	shogaku@city.sagae.yamagata.jp

---

---